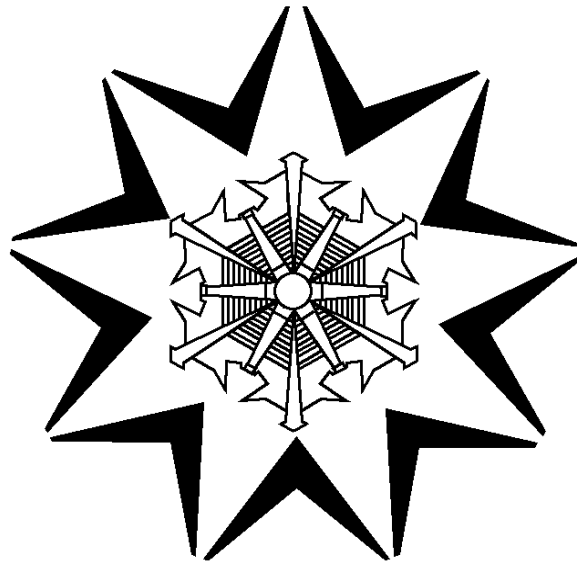


消 防 年 報

令和4年版
(令和5年発行)



吳市消防局

○ 呉市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と誇り高い伝統をうけつぎ、郷土の発展と明るくより豊かな生活をきずくため、この憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、清潔なまちにしましょう。
- 1 希望にみち、安らぎのあるまちにしましょう。
- 1 元気で、活気あふれるまちにしましょう。
- 1 豊かで、文化の高いまちにしましょう。
- 1 安全で、平和なまちにしましょう。

○ 呉市民の花， 呉市民の木

呉市民の花 つばき

呉市民の木 かし



令和4年3月31日現在

区 分	分 類	面 積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	1平方キロメートル当たり	
					世帯数	人口
合 計		352.83	106,337	208,096	301	590
西 消 防 署 管 内	小 計	141.26	61,545	117,263	436	830
	中 央	20.07	26,284	46,977	1,310	2,341
	天 応	3.95	1,772	3,672	449	930
	吉 浦	8.12	4,794	9,436	590	1,162
	宮 原	3.95	3,690	6,638	934	1,681
	警 固 屋	4.20	2,240	3,931	533	936
	昭 和	27.76	14,540	31,580	524	1,138
	音 戸	18.75	5,549	10,464	296	558
倉 橋	54.46	2,676	4,565	49	84	
東 消 防 署 管 内	小 計	212.60	44,792	90,833	211	427
	広	32.73	20,748	43,915	634	1,342
	阿 賀	14.57	7,308	14,105	502	968
	仁 方	10.51	2,922	5,855	278	557
	郷 原	20.94	1,983	4,399	95	210
	下 蒲 刈	8.72	702	1,216	81	139
	川 尻	16.85	3,743	7,575	222	450
	蒲 刈	18.98	865	1,421	46	75
	安 浦	63.54	4,822	9,721	76	153
	豊 浜	11.68	778	1,133	67	97
	豊	14.08	921	1,493	65	106

※面積の総数 352.83km²

令和2年全国都道府県市区町村別面積調より、総面積が増加（対前年比+0.02km²）。なお、各区分（地域）の面積は測定されておらず減少した面積の詳細を示すのは困難であるため、各区分の面積並びに比率は、平成25年10月1日現在のデータ（面積総数353.86km²）のままである。世帯数、人口は住民基本台帳による。

ま え が き

この年報は、呉市消防局管内における火災・救急等の実態及び消防業務の概要を収録し、今後の消防行政の合理的な運営の資料とし、併せて住民の皆様には消防行政についての理解と認識を深めていただき、防火・防災意識の高揚を図るために作成しました。

なお、統計資料は原則暦年で表し、予算関係は年度でまとめました。

令和5年12月

呉市消防局



呉市消防局シンボルマーク

呉市の花であるつばきをデザイン化し、中央に入れ、「人々の生命と財産を守る」という意味の英文「WE GUARD LIFE&PROPERTY」を外側に巻いて職員の使命と心意気を示し、その周りを呉市のマーク（9つのレの字）と、9つの峯（山）で囲み、市民に親しまれ、信頼される消防局をアピールしています。



呉市消防局マスコットキャラクター
「フォーエール」くん

愛称は、くじらの「ホエール」と呉消防の4つ(four)のエール「愛・絆・情熱・希望」を組み合わせています。海洋都市「呉」の海、海の王者「くじら」、消防車の赤色、また、背中から延びたホースで様々な災いの炎を消火する姿をイメージしています。

平成20年3月、自治体消防制度60周年を記念して公募し、80点の応募作品の中から決定しました。

呉市消防局一目統計

令和5年4月1日現在

面積	人口・世帯数	署所数	消防吏員数
 <p>352.83km²</p>	 <p>人口 208,096人 世帯数 106,337世帯</p>	 <p>消防局 1 消防署 2 分署 2 出張所 10</p>	 <p>352人</p>
消防予算	ポンプ車等	はしご車・特殊車等	救急車
 <p>3,775,818千円 (令和5年度)</p>	 <p>ポンプ車 21台 タンク車 3台 小型動力ポンプ付積載車 6台</p>	 <p>はしご車 2台 化学車 2台 救助工作車 2台</p>	 <p>高規格車 6台 2B型 10台 救急艇 1隻</p>
火災件数	救急件数	救助件数	119番通報件数
 <p>85件</p>	 <p>11,544件</p>	 <p>58件</p>	 <p>16,126件</p>
防火対象物	危険物施設	消防団員数	
 <p>6,492施設</p>	 <p>521施設</p>	 <p>1,635人</p>	

※火災・救急・救助・119通報件数は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの件数

呉消防愛唱歌

作詞 石本 美由起
作曲 市川 昭介
編曲 馬場 良

The musical score is written in treble clef with a key signature of two flats (Bb and Eb) and a common time signature (C). The melody is accompanied by chords: Bb, Eb, G7, Cm, F7, Bb, and Eb. The lyrics are provided in four lines of Japanese and their corresponding English translation.

1. しう きが あや なす ゆめ を おい つど う われ らに きす なあ りく くれ
2. うみ みに とま いち とを みお ーろ し て も つけ し も うな りか にか ーが み ねく くれ
3. げん ん ぎ いれ ば い ひも た ーみ す い まあ す どき りく らに ーい が な し く
4. ふ る いる し に あ た ーら し い す を りく らに ーい が な し く

を あ い て く れ に い き み す め
を あ い て く れ に の あ た の

ひ と と つ と も に ね へ り ひ と げん が きて せん しょう ぼう の け あ つ て は し た ほ へ り こ い は い り わ の い こ い は き と き な る の る を よ な み う こ ち し く び かる し を ら へ く い い ざ ざ ざ

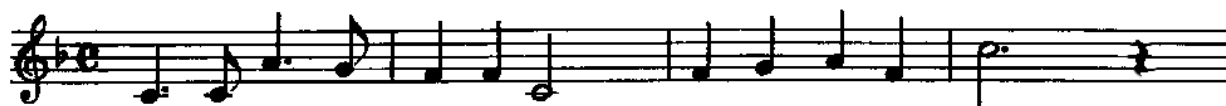
しい お か ぜ にも う た め お う よ
いも つ の と り ひ も な く さ す か そ う よ

<p>一</p> <p>四季が 綾なす 夢を追い 集う 吾らに 絆あり 呉を愛して 呉に生き</p>		<p>二</p> <p>海と 街とを 見下して 景色 和やか 灰ヶ峰 呉を愛して 呉に住み</p>	
<p>二</p> <p>ひとりひとりが 消防の 使命に生きる よろこびを いざ 潮風に 唄おうよ</p>		<p>三</p> <p>元氣 いっぱい 火も水も 守る 努力に 憂いなし 呉を愛して 呉の明日</p>	
<p>三</p> <p>共に 勇気を 分けあつて たじろぐことの ない力 いざ いつの日も 試そうよ</p>		<p>四</p> <p>古い歴史に 新しい 明日を 創ろう 彩どろう 呉を愛して 呉のため</p>	
<p>四</p> <p>共に 信じて 取る舵は 誇りに生きる 道しるべ いざ もろ共に 進もうよ</p>		<p>五</p> <p>常に 安全 都市として 平和の花を 美しく いざ 限りなく 咲かそうよ</p>	

呉 消 防 の 歌

作詞 不 詳

作曲 古 関 裕 而



う し ろ に た か き は い が み ね



り そ お と あ お き い ざ つ ど え



お と こ そ な え に う で も な る り ー ん と は り き る ち か ら い き



く れ し ょ う ほ う の こ の こ こ ー ろ

呉 消 防 の 歌

一、うしろに高き灰ガ峰

理想と仰ぎいざ集え

男備えに腕も鳴る

凜と張りきる力意氣

呉消防のこの精神

二、火の粉をついて眉あがる

渦巻く炎いざはらえ

男生命を火と賭けて

空に虹さす水柱

呉消防のこの手並

三、緑の郷土流し去る

出水も波もいざ防げ

男しぶきを身にあびて

見ろよ恐れぬ力こぶ

呉消防のこの榮譽

四、団結堅く再建の

貴きたからいざ護れ

男水火に先がけて

希望の花と咲き馨る

呉消防のこの使命

目 次

総 括

消防のしごと	1	・届出対象物の査察実施状況	24
消防のあゆみ	2	・各種届出書等の受理状況	25
消防機関の配置	10	・防火対象物定期点検報告と 特例認定状況	26
消防組織と事務分掌	11	・防災管理者の選任届	
消防局運営方針	12	・自衛消防組織届出現況	26

総 務

消防職員	13	・中高層建築物の現況	26
・階級別年齢構成	13	・住宅用火災警報器の設置率	26
・勤務年数別職員構成	13	火薬類の規制	27
・消防職員の配置状況	14	・火薬類関係事業所数	27
消防職員の研修体系	15	・火薬類関係貯蔵箇所数	27
・呉市消防局の目指すべき職員像	15	・火薬類許可件数	28
・令和3年度職員研修結果	16	・火薬庫保安検査実施棟数	29
消防予算	17	・火薬類立入検査実施件数	29
・過去5年間の予算概要	17	・火薬類届出状況	29
施設整備	18	危険物の規制	30
協定等の締結状況	19	・危険物施設現況	30
		・危険物施設査察実施状況	30
		・危険物関係事務処理状況	31

予 防

予防査察	20	高圧ガスの保安	32
・消防用設備等を必要とする 対象物の現況	20	・高圧ガス事業所の現況	32
・防火管理者を必要とする 対象物の現況	21	・高圧ガス保安法事務処理状況	32
・消防用設備等を必要とする 対象物の査察実施状況	22	消防クラブ	33
建築物の防火指導	23	防災センター	34
・建築同意の状況	23	・施設の内容	35
・消防用設備等の届出状況	23	警 防	
・違反処理状況	23	火 災	36
・届出対象物の現況	24	・火災概況	36
		出火原因	37
		・過去10年間の火災の 主な出火原因	37

・ 出火原因別の月別火災件数	38	・ 過去5年間の救助出動件数	
・ 出火原因別の火災状況	39	及び活動状況	61
・ 用途別・原因別火災概況	40	・ 救助出動状況	62
・ 過去10年間の火災の推移	41	・ その他の災害出動状況	63
・ 主な火災	42	消防水利	64
・ 月別火災発生件数及び		消防機械	65
損害額	43・44	・ 主な消防車両等	65
・ 建物火災	45	・ 主な機械器具	65
・ 過去10年間の出火率の変化	45	消防通信	66
・ 建物火災損害額の推移	46	・ 呉市消防局管内の	
・ 建物火災の主な原因別火災状況	46	消防無線施設配置図	66
・ 火災種別件数	47	・ 災害等受信総件数	66
・ 火災による死傷者	48	・ 119番受信状況	67
・ 署所別火災発生状況	49	・ 過去5年間の	
・ 林野火災発生状況	50	登録制通報装置受信状況	68
救 急	51	・ 映像通報システム利用状況	68
・ 救急活動状況と前年比較	51	・ 多言語電話通訳サービス	
・ 救急隊別出動状況	52	利用状況	68
・ 月別救急出動状況	53	・ 過去5年間の出動指令状況	68
・ 曜日別救急出動状況	54	・ 通信指令施設の現況	69
・ 事故種別・医療機関別搬送状況	55		
・ 管内管外別搬送人員状況	56	消 防 団	
・ 発生場所別状況	56	・ 消防団の組織と人員等	70
・ 現場到着所要時間状況	57	・ 消防団員の年齢構成	71
・ 収容所要時間状況	57	・ 消防団員の勤続年数	71
・ 年齢別搬送状況	57	・ 消防団担当区域	72
・ 救急隊員による応急処置			
実施状況	58		
・ 傷病程度別搬送状況	58		
・ 過去5年間の救急活動状況	59		
・ 普及啓発活動実施結果	59		
・ 普及啓発活動実施状況	59		
救急隊支援	60		
・ 救急隊支援出動状況	60		
・ 救急出動・支援出動件数の推移	60		
救 助	61		

総括

消 防 の し ご と
消 防 の あ ゆ み
消 防 機 関 の 配 置
消 防 組 織 と 事 務 分 掌
消 防 局 運 営 方 針

消防のしごと

消防は、市民の生命・身体・財産を災害から守るため、その施設と人員を活用して水火災や地震等の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことを任務としています。

本市の消防は、消防局（消防総務課、警防課、予防課）、2消防署（西・東消防署）、2分署（昭和・音戸分署）、10出張所の常備消防と1本部36分団の非常備消防（消防団）で構成しています。消防署、分署及び出張所には、ポンプ車や化学車、救助工作車、高規格救急車など多種多様な車両を配備し、火災・救助・救急などに対処しています。加えて、NBC災害やテロリズムなどの新たな脅威にも対処するため、多様な装備を配備するとともに、徹底した技術錬成により訓練された消防隊員をもって即時対応の体制をとっています。また、東消防署には防災センターを併設し、市民に対し防災に関する知識及び技術の普及並びに防災意識の高揚を図っています。

一方、平成30年7月、本市は豪雨により大きな被害を受けました。消防は豪雨災害発生以降、地域コミュニティにおける自助機能のさらなる強化を図るため、自治会などの関係機関と連携して避難訓練等を行っています。

特に、令和4年1月には、複雑多様化する災害への対応能力と地域防災力の強化を目的として整備した、大規模災害対応訓練施設が完成し、地域住民を対象とした防災講習会などを開催し、災害に対する知識と技術を深め、災害に強いまちづくりを推進していきます。

また、防火対策として、火災予防運動や住宅用火災警報器の設置指導などの組織的な防火活動を展開し、地域住民に広く火災予防思想の普及を図っているほか、店舗や宿泊施設を始めとする防火対象物での立入検査や危険物施設に対する保安指導などを通じ、火災予防及び火災につながる危険物事故防止の徹底を図っています。併せて、火災が発生したときには、消火活動の開始と同時に火災原因及び損害の調査を行い、その結果を資料化するとともに、事例研究を重ねることにより、火災予防対策や警防対策の強化も図っていきます。

呉市消防局は、消防団や地域住民と協働して「地域防災力及び減災力」を強化することにより、市民一人ひとりが安全と安心を実感できるまちづくりの実現に取り組みます。

消防のあゆみ

- | | | | |
|---------|---|---------|--|
| 明治21. 1 | 阿賀大入で160棟を焼く大火
死者3名を出す | 8. | 海軍工廠に救急車を配備 |
| 22. 7 | 鎮守府開庁 | 9. 4 | 呉市消防組にラッパ手を配置 |
| 25. 3 | 宮原村字神原で全焼39棟，半
焼6棟の火災 | 10. 2 | 堺川通2丁目青物市場の火災
で20棟全焼 |
| 27. 2 | 勅令消防組規則公布 | 10. 4 | 呉市消防協会が設立される |
| 28. 12 | 灰ヶ峰の山火事で3町歩焼失 | 10. 7 | 消防手訓練で殉職 |
| 29. 4 | 造船部職工溜から出火4棟及
び端舟17そうを焼く | 12. | 林野火入及び火気取締規定 |
| 34. 4 | 四ヶ町村（和庄・宮原・莊山
田・吉浦）の消防組の連合勢
揃いを二河川川原で行う | 12. 2 | 呉市消防組に常備部（夜間）を
置く
二河川川原で消火器の消火実
験が行われる |
| 35. 10 | 呉市制施行 | 12. 10 | 呉市消防組，金馬簾1条認可 |
| 36. 7 | 大豪雨による全壊17戸，半壊
300戸，浸水家屋2,386戸 | 13. | 呉市消防組の常備消防が昼夜
常駐となる |
| 36. 9 | 呉市消防組創立式を行う
（4部で130名） | 14. 1 | 川尻町に公設消防組設置 |
| 37. 8 | 和庄本通2丁目の呉興産勸商
場の火災で全焼59棟，半焼10
棟，819坪焼失 | 15. 1 | 阿賀延崎で全焼13棟，半焼
5棟の火災 |
| 38. 6 | 大地震により鎮守府庁舎階上
監獄等崩壊，家屋破損など相
当の被害あり
（死者6名，重傷者29名） | 15. | 呉市消防組にサイドカー1台
購入
海軍工廠に消防艇を配備
蔵本通に常備消防庁舎建築 |
| 39. 5 | 警固屋町制施行 | 昭和 3. 4 | 呉市消防組常備消防部33名に
吉浦町，警固屋町，阿賀町が
呉市に合併 |
| 40. 1 | 仁方町制施行 | 4. 6 | 呉市消防組新庁舎と望楼
（32m）竣工 |
| 41. 3 | 和庄本通4，5丁目勸商場より
出火
全焼90棟，半焼11棟，損害額
30万円に及ぶ | 5. 12 | フォード貨物自動車を購入し
はしご自動車に改造
（12m級）
広村消防組に金馬簾1条認可
防護団発足 |
| 41. 3 | 呉湯屋火災共済会結成 | 6. 1 | 阿賀町消防組に金馬簾1条認
可 |
| 42. 2 | 灰ヶ峰で山火事45町歩焼失
阿賀延崎で76棟，760坪焼失
の大火 | 6. 11 | 呉市消防組に金馬簾2条認可 |
| 43. 4 | 呉市消防組5部制に（160名） | 7. 3 | 海岸通3丁目の火災で全焼
11棟
仁方町消防組に金馬簾1条認
可 |
| 45. 5 | 三条通の火災で10棟全焼，
4棟半焼，破壊1棟 | 8. 2 | 非常水火災警防規程制定 |
| 45. 9 | 東堺川通1丁目で全焼8棟の火
災 | 8. 9 | 神田町の火災で全焼20棟，半
焼5棟 |
| 45. 12 | 元町で13棟全焼の火災 | 9. 9 | 松本町の火災で全焼6棟，
半焼2棟，死者11名 |
| 大正 4. 2 | 吉浦町制施行 | 11. 2 | 中通日の丸百貨店火災で17棟 |
| 7. 1 | 中通春日座の火災で10棟全焼 | | |
| 7. 4 | 呉市水道給水開始
（本庄水源地竣工） | | |

- が全焼
11. 9 呉市消防組に金馬簾3条認可
11. 12 吉浦消防組に金馬簾2条認可
阿賀消防組に金馬簾2条認可
12. 1 中通楽天地の火災 全焼11棟
半焼6棟
12. 4 阿賀消防組に常備部を置く
吉浦消防組に三輪ポンプを配
備, 常備部分遣所を設置し,
4名を配置
12. 5 吉浦中町の火災で全焼7棟
警固屋消防組に常備部分遣所
設置
12. 10 宮原第2中学校火災で校舎外
11棟全焼, 5棟半焼
13. 警固屋町に婦人消防隊(120
名)少年消防隊(60名)組織
13. 1 広交差点で10棟焼く火災
14. 4 呉市警防団発足総数2,337名
16. 4 軍の要請に基づき仁方町, 広
村を合併
17. 1 広町に常備部広分遣所開設し
ポンプ自動車1台, 人員6名を
配置
18. 1 呉及び広に特設消防署設置
呉・ポンプ自動車8台, 3出張
所(定員152名, 実員36名)
広・ポンプ自動車5台, 1出張
所(定員82名, 実員12名)
19. 4 警防団の非常応援規程定めら
れる
19. 5 重要防空都市に指定される
仁方出張所開設
19. 6 学徒を動員し消防署に配置
呉消防署に93名, 広消防署に
50名
19. 10 海岸, 岩方, 本通, 宮原13丁
目出張所を開設
19. 12 長浜出張所を開設
20. 3 少年消防官採用
19日呉空襲始まる
20. 9 枕崎台風
死者1,154人, 負傷者440人,
家屋流出1,162戸, 半壊家屋
792戸
20. 10 連合軍呉市へ進駐
21. 3 呉消防署の定員160名, ポン
プ車20台, 広消防署の定員94
名, 宮原, 岩方, 栄町, 原,
横路, 三坂地出張所廃止
21. 12 海軍防火隊46名, ポンプ車2
台, 消防艇1隻, 呉消防署へ
移管
22. 8 呉防火協会設立
23. 3 消防組織法施行され自治体消
防発足, 呉市消防本部設置
23. 7 消防法制定公布
23. 10 呉市危険物取締条例施行規則
公布
24. 3 消防吏員増員され272名とな
る
24. 6 デラ台風 死者4人, 全半壊
家屋16戸
24. 9 呉市消防章制定, 階級章改正
25. 6 呉市消防共済会を組織
呉消防署を呉市西消防署に,
広消防署を呉市東消防署に改
称する
火災出動中, 消防士殉職
25. 9 キジア台風 死者1名, 家屋
浸水等1,173戸
26. 8 呉市水防規程施行
26. 10 ルース台風 死者2名, 家屋
浸水等823戸
呉市火災予防条例公布施行
27. 6 呉市消防本部で救急業務開始
27. 11 消防艇が無償で呉市に払い下
げられる
28. 3 海岸3丁目で全焼19棟, 24世
帯焼け出される
28. 6 阿賀出張所移転新築
29. 9 洞爺丸台風 家屋浸水等
1,507戸
29. 10 呉市防災協会発足
29. 11 消防一斉指令機を設置
30. 2 中短波無線機装備
30. 3 三坂地小学校少年消防クラブ
が消防庁長官から表彰される
30. 6 海岸, 本通出張所を廃止
条例定員215名に改定
30. 9 台風22号豊栄新開決壊, 流水
浸水家屋1,753戸
(災害救助法適用)
30. 10 海岸, 本通出張所再開, 港湾

- 出張所を廃止，通信員の専従制を採用
30. 12 舟園町（現在の宝町）の劇場火災で消防士殉職
31. 10 郷原村，天応町，昭和村が呉市と合併する
31. 12 GMC米軍消防車を改造した12m級のはしご車を配置
32. 4 消防職員30名減で実員190名
33. 3 呉市にはじめて火災報知機がつく（40基）
34. 1 署の機械係廃止本部に統合
34. 10 消防本部に企画広報係新設
35. 4 東消防署庁舎落成
35. 7 集中豪雨 死者3人，全壊浸水等353戸
36. 2 東畑町母子寮の火災で全焼5棟，23世帯焼け出される
36. 3 両城中学校の火災で5棟全焼
36. 5 仁方出張所新築
36. 8 消防本部に予防課を新設3課となる
 警防課に通信係を，予防課に指導係を新設
37. 5 超短波無線機を装備
 警固屋出張所新築
37. 6 呉市安全会議を結成
37. 12 消防艇廃船となる
38. 4 救急業務が法制化される
38. 5 川尻町消防団に常備部が置かれる
38. 10 呉市消防本部を呉市消防局と改称
38. 12 消防局，西消防署着工
39. 3 吉浦出張所新築
39. 12 消防局，西消防署庁舎が落成
40. 9 海上保安部と船舶の消防業務について業務協定を締結する
41. 3 川尻町で救急業務を開始
41. 5 第7次火災報知機設置で計224基となり設置を終わる
41. 10 18m級はしご車を購入
42. 5 消防一斉指令装置を更新
42. 7 集中豪雨により死者88名，負傷者467名，救出作業中の消防士長殉職，その他多数の職員が負傷（災害救助法適用）
43. 3 吉浦魚見山隧道に火災報知機発信機及び消火器等が備えられる
43. 8 宮原出張所新築
43. 10 消防局と呉海上保安部による業務協定 締結
44. 3 林野火災で消防士2名殉職
44. 10 第24回法制委員会当市で開催
45. 4 化学消防車購入，2台となる
45. 9 呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約締結
46. 4 広町大張矢の林野火災で消防職員18名殉職（焼失面積340ha，損害額4,260万円）
46. 6 昭和出張所開設
46. 7 救急車のサイレンがピーポーサイレンに変わる
 林野火災特別地域の指定を受ける
46. 9 林野火災工作車を購入
46. 11 赤バイ5台購入 32m級はしご付き自動車を購入，西消防署に配置
46. 12 昭和通2丁目 I H I 呉造船所の火災焼失面積3,078㎡，損害額103,128千円
47. 4 大張矢林野火災殉職者の慰霊碑建立除幕式を行う
47. 5 天応出張所開設
48. 3 消防研究所が大張矢林野火災跡地に無人気象観測機を設置
48. 7 陸上自衛隊第13師団に消防職員10名を派遣 レンジャー隊員の養成を始める
48. 8 隔日給水制限（20日～26日）
48. 10 予防査察員専従制となる
49. 1 阿賀町の林野火災で消防団員殉職
49. 6 川尻町の消防事務を受託し，川尻出張所を開設する
 条例定員233名に改正
49. 7 火災報知機を全面的に廃止
49. 8 消防係を警防係に，通信係を第一通信係・第二通信係に改め川尻出張所に所長を置く
50. 7 東・西消防署の査察係に係長を置く

- 大張矢に設置した無人氣象観測機を撤去
50. 9 安浦町消防団に常備部が置かれる
51. 11 火災出動中、消防士長1名殉職
51. 12 呉市にはじめて婦人消防団員誕生
(大入, 冠崎, 情島各8名)
52. 11 長浜出張所廃止
53. 3 自治体消防30周年記念行事を行う
西消防署に訓練塔を設置
(高さ9.2m)
53. 4 条例定員247名に改正
53. 7 海岸出張所廃止
53. 8 3日周期の給水制限
(8/17~9/5)
53. 11 消防救急指令装置を設置する
山陽ジャスコより指揮車兼広報車の寄贈
54. 2 テレホンガイド3回線設置
54. 4 副長を副署長に改正
西消防署に署長補佐(警防担当及び予防担当)を設ける
54. 8 昭和出張所に救急車を配置
54. 9 照明電源車を配置
赤バイ2台廃車
55. 2 損保からスノーケル車の寄贈
55. 3 長浜出張所新築
55. 4 条例定員253名に改正
東消防署に署長補佐(警防担当)を設ける
広島県救急医療情報システムによる呉地域救急医療情報センター運用開始
56. 3 救急波開局に伴い簡易多重無線設備設置
56. 4 消防局に危険物係を設ける
東消防署に署長補佐(予防担当)を設ける
56. 10 赤バイ3台廃車
56. 11 警固屋地区子供会連合会少年消防クラブ結成
56. 12 広町中新開幼年消防クラブ結成
広町長浜保育所消防クラブ結成
57. 3 本通出張所新築
57. 4 条例定員255名に改正
署長補佐制度を廃止
57. 5 塩焼婦人消防クラブ結成
57. 6 日立清水地区婦人防火クラブ結成
57. 7 呉市少年婦人防火委員会設置
57. 9 「救急の日」「救急医療週間」制定
呉東ロータリークラブから指揮広報車の寄贈
I H I でタンカー火災 死者6名, 負傷者8名
57. 10 日本防火協会から防火広報車の寄贈
57. 12 救助工作車を配置
58. 3 中通大火第3出動
全焼5棟, 半焼1棟, 部分焼4棟
25店舗被災, 焼失面積2,716㎡
阿賀出張所新築
58. 10 第52回法制委員会当市で開催
59. 2 呉市防災センター・東消防署建設基本計画作成
59. 3 東消防署に訓練塔(地下80トン水槽, 地上5階建)建設
41m級はしご車を購入し, 西署に配置
32m級はしご車を東消防署に配置
59. 4 昭和59年度中消会春季役員会総会及び意見発表会を当市で開催
59. 7 呉市防災センター・東消防署着工
60. 2 テレホンガイド6回線に増設
60. 3 警固屋地区子ども会連合会少年消防クラブが(財)日本防火協会会長から表彰される
18m級はしご車廃車
60. 4 安浦町の消防事務を受託し, 安浦出張所を開設
条例定員273名に改正
60. 12 呉市防災センター・東消防署落成
61. 3 消防局, 西消防署庁舎外壁改修工事
61. 12 広島ガス(株)から救急車の寄贈

- | | | | |
|---------|---|-------|---|
| 62. 1 | 救助業務が法制化される | | 出張所落成 |
| 62. 8 | 仁方本町2丁目踏切事故
応援バスと電車衝突59名負傷 | 6. 3 | 消防局、西消防署庁舎4階を
通信指令室、講堂に改装 |
| 62. 10 | 昭和市场センター・昭和外張
所移転落成
広島県内広域消防相互応援協
定締結 | 6. 4 | 警防課に救急救助係を設置
救急救命士誕生（2名） |
| 63. 3 | 自治体消防40周年記念行事を
行う
デジタル電子交換機更新 | 6. 8 | 異常渇水により県内各地で林
野火災多発
県内相互応援協定に基づき竹
原市に警防隊派遣 |
| 63. 7 | 昭和町日新製鋼（株）呉製鉄
所でガス爆発事故，死者4名
負傷者30名 | 6. 10 | 大新土木（株）から高規格救
急車（西消防署）の寄贈
呉市防災協会創立40周年 |
| 63. 10 | 東消防署に人員輸送車（マイ
クロバス）を配置 | 7. 1 | 阪神・淡路大震災に救助隊を
派遣 |
| 63. 12 | 林野火災工作車を廃車
広島県同栄社農業協同組合連
合会から救急車の寄贈 | 7. 2 | 仁方保育所幼年消防クラブ結
成 |
| 平成 1. 2 | 救助工作車を西消防署に配置
15m級はしご付消防自動車
を昭和外張所に配置 | 7. 3 | 消防緊急通信指令施設導入
消防局・西消防署庁舎用非常
用自家発電施設完成 |
| 1. 9 | 社団法人 日本損害保険協会
から水槽付消防ポンプ自動車
の寄贈 | 7. 6 | 緊急消防援助隊発足 |
| 1. 11 | 呉グリーンライオンズクラブ
から調査車及び査察車の寄贈 | 7. 11 | 西消防署のスノーケル車を廃
車し15m級はしご付消防自動
車を配置 |
| 2. 3 | 呉中央信用金庫から救急車の
寄贈 | 8. 1 | 緊急援助隊広島県合同訓練を
広島市で実施 |
| 2. 4 | 広島県内航空消防応援協定締
結 | 8. 7 | 塩焼婦人消防クラブが（財）
日本防火協会会長から表彰さ
れる |
| 3. 2 | 音戸の瀬戸水中翼船衝突事故
負傷者54名
仁方しろはと幼稚園幼年消防
クラブ結成 | 8. 8 | 大新土木（株）から高規格救
急車（東消防署）の寄贈 |
| 3. 3 | 東消防署に30m級，四輪操舵
のはしご付消防自動車を配置 | 8. 10 | 消防職員委員会発足 |
| 3. 9 | 台風19号により，災害救助法
の適用を受ける
死者2名，負傷者6名，家屋全
壊64戸，一部破壊3,749戸，
浸水家屋1,725戸，道路損壊
38か所他 | 8. 12 | 消防団に携帯無線機を配備 |
| 4. 11 | 焼山めいわ保育園幼年消防ク
ラブ結成 | 9. 3 | 安浦町，安芸津町両町にまた
がり林野火災発生 185ha焼損
（安浦町109ha，安芸津町76ha）
消防局庁舎耐震改修工事着工
大張矢の無線中継所新設
呉市中央公園に飲料水兼用耐
震性貯水槽100 t 設置
高度救助資機材導入に併い，
Ⅲ型救助工作車東署に配置 |
| 5. 7 | 集中豪雨により両城2丁目
で崖崩れ 死者2名 | 9. 4 | 宮原出張所，警固屋出張所を
統合し，南出張所を開設
管内救急隊は6隊となる
条例定員320名に改正 |
| 5. 10 | 仁方支所・仁方公民館・仁方 | 9. 8 | 照明電源車を廃車 |
| | | 9. 10 | 日立清水地区婦人防火クラブ |

- が(財)日本防火協会会長から表彰される
- 大新土木(株)から高規格救急車(昭和出張所)の寄贈
10. 2 名田保育園幼年消防クラブ結成
広公園に飲料水兼用耐震性貯水槽100 t 設置
10. 3 呉市自治体消防50周年記念行事を行い、式典で呉消防愛唱歌とシンボルマークを披露
10. 7 青蓮寺幼稚園幼年消防クラブ結成
10. 10 昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ結成
10. 11 携帯電話119番受付開始
10. 12 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)の寄贈
11. 4 条例定員338名に改正
11. 6 集中豪雨により、災害救助法の適用を受ける
死者8名、負傷者5名、家屋全壊18戸、半壊・一部損壊146戸、浸水家屋1,780戸
11. 8 静止画像伝送システム導入
11. 10 豊浜、豊町の消防事務を受託し、大崎下島出張所を開設
救急艇を建造し、同出張所に配置
管内救急隊は7隊となる
12. 1 安芸灘大橋開通
12. 2 大新土木(株)から高規格救急車(東消防署)の寄贈
12. 4 参事補、課長補佐を設ける
13. 3 安芸灘を震源とするM6.7の芸予地震発生
(災害救助法の適用)
死者1名、負傷者90名、家屋全壊58戸、半壊279戸、一部損壊14,179戸
13. 4 平成13年度中消会春季役員会・総会及び意見発表会を当市で開催
13. 9 救命消防隊発足
13. 10 郷原出張所開設
管内救急隊は8隊となる
14. 2 大新土木(株)から高度救命用資機材装備の2B型救急車(西消防署)寄贈
14. 3 呉市消防局ホームページ開設
14. 4 吉浦出張所、天応出張所を統合し、狩留賀出張所を開設
管内救急隊は9隊となる
女性消防吏員誕生
通信指令室を設け、室長を置く。予防課調査係を警防課へ配置し、警防課機械係を警防課装備係とする
14. 5 呉市防災センター入館者10万人達成
14. 6 横路保育所幼年消防クラブ結成
14. 8 集中豪雨により、西三津田町で崖崩れ 死者1名
15. 3 可搬式高圧噴霧消火装置(インパルス消火システム)2基導入
西消防署40m級はしご付消防自動車更新
15. 4 呉市と安芸郡下蒲刈町合併
呉市消防団3分団増で24分団となる
15. 10 豊田郡川尻町で建物火災
1棟全焼、死者5名
15. 10 中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を当市(呉大学)で開催
16. 1 バブコック日立エコークラブから消防指令車の寄贈
16. 2 ダイユウ技研土木(株)から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
16. 4 呉市と豊田郡川尻町合併
消防局に通信指令課を新設4課となる
警防課通信第1係・通信第2係を通信指令課指令第1係・指令第2係に改編する。
各署に警防司令官を設ける
各署の警防係を廃止
条例定員356名に改正
呉市消防団2分団増で26分団となる

16. 9 台風18号により，災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
負傷者14名，家屋全壊14戸，半壊29戸，一部損壊2,255戸
16. 10 I P 電話119番受付開始
16. 11 江田島市制施行に伴い，江能広域行政組合が解散
音戸町，倉橋町から消防事務を受託する
音戸町，倉橋町用の消防緊急通信指令施設導入
条例定員402名に改正
1本部3署12出張所となる
管内救急隊は11隊となる
17. 3 呉市と音戸町，倉橋町，蒲刈町，安浦町，豊浜町，豊町が合併して人口約26万人となる
蒲刈出張所開設
蒲刈出張所へダイユウ技研土木（株）から高度救命用資機材装備の高規格救急車寄贈
管内救急隊は12隊となる
1本部3署13出張所となる
呉市消防団は59分団増となり85分団となる
18. 3 通信指令庁舎建設工事開始
19. 4 高機能消防指令センター（通信指令庁舎）運用開始
高圧ガス保安法及び火薬類取締法に関する事務が県より移譲される
19. 9 大新土木（株）から救急救命士仕様2B救急自動車（川尻出張所）の寄贈
20. 1 呉消防マスコットキャラクター「フォーエールくん」決定
20. 3 自治体消防60周年記念ミュージカル「地震カミナリ火事オヤジ」公演
20. 4 警防課内に危機管理室を新設
通信指令課に通信司令官を設ける
長浜出張所を廃止し，1本部3署12出張所となる
条例定員385名に改正
仁方出張所に救急自動車配備
20. 6 本通4丁目建物火災第3出動（全焼1棟，焼失面積約1,365㎡）
20. 7 波多見保育所幼年消防クラブ結成
20. 11 豊島大橋開通
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定締結
21. 4 条例定員380名に改正
川尻・大崎下島出張所18人体制から12人体制へ変更
呉市消防団を再編し，85分団から37分団となる
22. 4 条例定員を370名に改正
本通出張所と阿賀出張所を統合し，救急隊を配備した阿賀北出張所を開設
1本部3署11出張所体制（管内救急隊は14隊）となる
22. 7 7月12日からの大雨により災害救助法・被災者生活再建支援法の適用を受ける
死者1名，負傷者2名，家屋全壊4戸，半壊15戸，一部損壊38戸，床上浸水172戸，床下浸水319戸
22. 10 掲山林野火災（11ha焼損）
23. 3 東日本大震災による甚大な津波被害が発生し，緊急消防援助隊広島県隊として宮城県名取市へ派遣（3/12～4/13，7名）
23. 5 第93回全国消防長会財政委員会が当市で開催
23. 9 呉市消防局庁舎建設推進会議設置
24. 3 消防局・西消防署庁舎改修工事（外壁・防水・配水管・排水管）
24. 4 3署に救急係を新設
西・東消防署の予防係を予防査察係に名称変更
東広島・呉自動車道が部分開通（12.3km）
25. 2 東消防署に30m級の水路管付はしご車を配置
25. 3 第2音戸大橋開通

25. 4 消防総務課経理係を消防総務課管理係に
警防課救急装備係を警防課救急係に改編する
26. 8 8.20豪雨災害により甚大な被害を受けた広島市へ県内広域消防相互応援協定に基づき応援隊を派遣
27. 1 東消防署の救助工作車Ⅲ型を更新
27. 3 東広島・呉自動車道が全線開通（高屋～阿賀 32.8km）
27. 4 警防課危機管理室を市長部局総務部に危機管理課として移設
27. 6 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事設計者選定委員会設置
28. 3 消防庁長官から呉市消防局・呉市消防団が竿頭綬を授与された呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う基本設計策定
消防救急デジタル無線運用開始
28. 4 呉市が全国で46市目（佐世保市と同時）の中核市へ移行
29. 4 通信指令課と警防課を統合し、3課となる
通信指令課指令第1係、第2係を警防課指令第1係、第2係に改編する
西・東消防署に救急司令官を設ける
通信司令官を廃止
29. 7 九州北部豪雨による甚大な浸水・土砂の被害が発生し、緊急消防援助隊広島県隊として福岡県朝倉市杷木林田、東峰村へ派遣（7/6～7/25, 49名）
30. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に伴う実施設計策定
30. 4 呉市消防局高機能消防指令センター整備事業事業者選定委員会設置
30. 7 平成30年7月豪雨発生
集中豪雨により、激甚災害の指定及び災害救助法の適用を受ける
緊急消防援助隊島根県隊の派遣を受ける
- 死者29名，負傷者22名，家屋全壊324戸，大規模半壊133戸，半壊766戸，一部損壊1,263戸，床下浸水741戸
30. 9 呉市消防局・西消防署新庁舎等建設工事に着手
呉市消防局高機能消防指令センター整備事業に着手
31. 3 一般国道185号休山新道4車線化
31. 4 自主防災組織に関する事務を総務部危機管理課へ移譲する
呉市消防団川尻西・東分団が統合し、36分団となる
- 令和1. 5 呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定を締結
2. 2 西消防署に35m級先端屈折式はしご付消防自動車を配置
2. 3 呉市消防局・西消防署新庁舎供用開始
2. 4 警防課に高度救助隊を発足
音戸消防署を西消防署音戸分署に改編する
西消防署昭和出張所を西消防署昭和分署に改編する
音戸消防署倉橋出張所を西消防署倉橋出張所に改編する
音戸分署，昭和分署に分署長・副分署長を設ける
2. 4 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い，全都道府県を対象に緊急事態宣言が発令（4/16～5/14）
新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を踏まえ，各種イベントを中止
3. 4 大張矢林野火災から50年
- 3.10 機能別消防団員制度を導入
4. 1 大規模災害対応訓練施設が完成
4. 3 東広島・呉自動車道阿賀ICの立体化
4. 3 広多賀谷4丁目の呉市一般廃棄物一時保管場所の火災で4,200m³を焼損
5. 1 消防出初式を4年ぶりに開催
5. 4 呉市消防団蒲刈向・中央・大浦分団が統合し、34分団となる

消防機関の配置

消 防 管 内 図

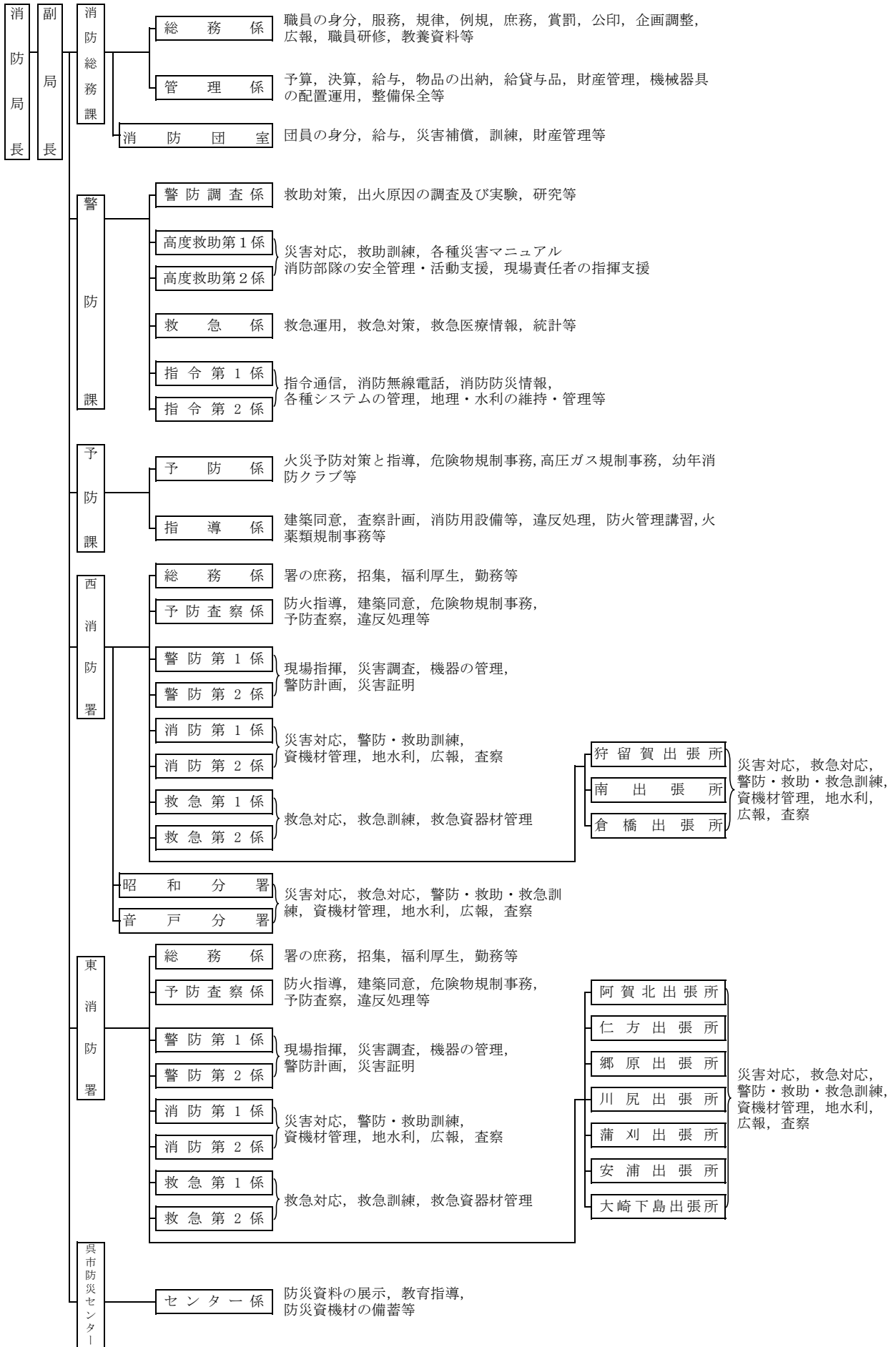


建 物（庁舎）の 現 況

名 称	位 置	構 造	建築面積㎡	延面積㎡	備 考
消防局・西消防署	呉市西中央3丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	1,397.68	3,883.04	地下40トン水槽
主 訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 4階建	53.94	118.19	
副 訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート一部鉄骨 地下1階地上3階建	78.24	119.38	
昭 和 分 署	〃 焼山中央2丁目8番21号	鉄筋コンクリート4階建	1,560.00	4,380.97 (642.59)	1・2階一部占用
音 戸 分 署	〃 音戸町高須2丁目1番19号	鉄筋コンクリート4階建	424.21	1,198.61	
訓 練 棟	〃 〃	鉄筋コンクリート4階建	23.81	104.81	
狩留賀出張所	〃 狩留賀町3番19号	鉄筋コンクリート2階建	356.41	602.76	
南 出 張 所	〃 宮原13丁目2番29号	鉄筋コンクリート2階建	278.03	448.78	
倉 橋 出 張 所	〃 倉橋町1771番地の1	鉄筋コンクリート2階建	373.90	671.69	
東 消 防 署 防 災 セ ン タ ー	〃 広古新開2丁目1番9号	鉄骨鉄筋コンクリート6階建 一部鉄筋コンクリート2階建	933.90	3,066.60	
訓 練 棟	〃 〃	鉄骨鉄筋コンクリート 地下1階地上5階建	35.53	190.93	地下80トン水槽
阿 賀 北 出 張 所	〃 阿賀北4丁目3番27号	鉄筋コンクリート2階建	270.53	411.53	
仁 方 出 張 所	〃 仁方本町1丁目6番18号	鉄筋コンクリート 地下1階地上4階	978.76	3,692.19 (246.46)	1階一部占用
郷 原 出 張 所	〃 郷原町7100番地	鉄筋コンクリート2階建	284.84	353.75	
川 尻 出 張 所	〃 川尻町西1丁目1番1号	鉄筋コンクリート3階建	440.66	1,239.82 (385.17)	1階一部占用
蒲 刈 出 張 所	〃 蒲刈町向字小市369番5	鉄筋コンクリート2階建	492.30	592.11	
安 浦 出 張 所	〃 安浦町中央6丁目2番1号	鉄筋コンクリート2階建	316.48	465.02	
大 崎 下 島 出 張 所	〃 豊浜町大字大浜311番地の1	鉄筋コンクリート2階建	311.90	548.71	

() 消防占用部分の床面積㎡

消防組織と事務分掌



令和5年度 呉市消防局運営方針

基本方針

災害に強い、安全・安心なまちづくりの実現を目指し、

「防火・防災体制」 「救急・救助体制」 「消防・組織体制」

の強化に取り組む。

消防局の組織目標		令和5年度の具体的な取組
防火・ 防災体制	I 防火安全対策の推進 (1) 防火・防災対策の推進 (2) 防火査察と違反是正の徹底・強化	(1) 火災予防の推進と危険物施設の保安体制を強化する。 ・ 防火対象物の関係者と市民に対し、訓練指導と消防局HP・YouTube等を積極的に活用した火災予防広報を実施 ・ 危険物施設における事故防止・風水害対策の推進 (2) 法令違反による火災危険排除のため、効率・効果的な防火査察を実施する。 ・ 重大違反対象物の一貫した是正指導、早期是正に向けた適正な違反処理への移行 ・ 危険物の無許可貯蔵・取扱い等に対する迅速な違反処理の実施 ・ 違反処理等のスキルアップを図るための職員研修の実施
	II 地域防災力の強化 (1) 消防団の充実強化 (2) 地域住民等との連携強化	(1) 消防団の資機材、施設、車両装備の機能及び性能を向上させるとともに、消防団員の確保に向けた施策を実施する。 ・ 入団促進活動の強化(消防団のPR動画を作成して発信〔消防局HP・YouTube等〕) ・ 消防団員教育の実施(広島県消防ポンプ操法大会、運転技術向上訓練等) (2) 地域住民等の防災活動に対する積極的な支援及び指導を実施する。 ・ 消防署と消防団、自主防災組織、自治会、事業所等との連携強化 ・ 防災センターの有効活用による防災教育の推進及び利用促進に向けた取組の強化 ・ 大規模災害対応訓練施設を活用した市民講習の促進
救急・ 救助体制	III 救急知識の普及・啓発 (1) 救急車適正利用及び予防救急の広報 (2) 応急手当の普及・啓発	(1) 救急車の適正利用及び予防救急について普及・広報を図る。 (2) AEDの取扱方法を含めた心肺蘇生法、その他応急手当の方法など救急知識の普及・啓発を図る。 ・ 防災センター職員による救急講習の実施 ・ 児童、生徒に対する応急手当普及啓発の更なる推進
	IV 災害現場での対応力の向上 (1) 高度な技術の習得 (2) 職員の資質向上 (3) 指導救命士制度の運用取組	(1) 専門的かつ高度な技術を身につけるための実践的訓練を実施する。 ・ 指揮訓練、消防救助技術習得訓練等の実践的訓練の実施 ・ 大規模災害対応訓練施設を活用した訓練の実施 (2) 各種専門研修の充実及び蓄積した消防知見の伝承教育を実施する。 ・ 機関員の育成及び事故防止対策の徹底 ・ 火災調査能力向上のための職員研修の実施 ・ 警防・救急活動に関する基本訓練の反復 ・ 再任用職員の知識、技術の伝承 (3) 指導救命士制度を効果的に運用する。 ・ 救急救命処置等に係る技術習得訓練、研修会等の実施 ・ 通信指令員に対する口頭指導研修会等の実施
消防・ 組織体制	V 消防体制の強化 (1) 消防組織・体制の強化 (2) ハラスメント防止対策の推進 (3) 女性消防吏員の活躍推進 (4) 消防施設の計画的な管理の推進 (5) DXの推進	(1) 将来を見据えた組織体制を検討するとともに、職員の資質向上を図る。 ・ 定年延長制度の開始に伴う職員適正配置の検討 ・ 火災、救急及び大規模災害等対応後の惨事ストレスケアの実施 ・ 消防大学校、市町村アカデミー等研修機関への計画的な派遣 (2) ハラスメント防止対策を推進する。 ・ ハラスメント研修の実施 ・ 個別面談の実施等 (3) 女性消防吏員の活躍を推進する。 ・ 呉市消防局女性消防吏員活躍推進基本方針に掲げる取組項目の実施 ・ 女性の受験者増加に向けたPR活動の実施 (4) 消防施設の総合的かつ計画的な管理を推進する。 ・ 川尻出張所・川尻分団詰所整備の推進(用地取得・実施設計) ・ 適正配置の検討 (5) DXを検討し業務の効率化を図る。 ・ 電子申請の推進 ・ オンライン形式による応急手当普及啓発の推進 ・ 消防団タブレットの活用(災害時の情報収集と共有、Web会議等)
	VI 災害活動基盤の充実 (1) 消防資機材等整備の推進 (2) 消防水利の維持管理 (3) 消防通信指令業務の充実・強化	(1) 迅速かつ効果的な消防・救急活動を実現するため、消防車両等の整備を推進する。 ・ 消防車両等の適正配置及び整備 ・ 施設、設備、機器等の整備 ・ ドローン導入に向けた検討 (2) 大規模災害時等における効果的な消防活動を実現するため、消防水利を維持管理する。 ・ 消防水利整備管理事業計画に基づく消防水利の維持管理 ・ 既設防火水槽の整備 (3) 複雑多様化する災害事案に適切に対応するため、消防通信体制を充実強化する。 ・ ライブ119映像通報システム、ネット119緊急通報システム及び多言語電話通訳サービスの普及・広報 ・ 画像伝送システムを活用した災害時の効果的な運用 ・ 応急手当実施率向上に向けた効果的な口頭指導の実施 ・ 高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線の更新に向けた検討

組織運営

呉市消防局の「基本方針」及び「組織目標」を達成するため、次のことに重点を置き、各職員が当たり前のことを徹底して行う。

- (1) **市民の視点**
○ 市民目線で問題を捉え、市民満足度の高い消防サービスの提供
- (2) **公務員倫理の高揚**
○ コンプライアンスを徹底し、市民に信頼され、確実に業務遂行できる消防吏員の育成
- (3) **安全・衛生管理の徹底**
○ OJTによる経験及び技術の伝承並びにKYTやヒヤリハットによる事故防止の徹底
○ 職員のメンタルヘルスマネジメント体制の確保
- (4) **職場風土の醸成**
○ 伝統の継承と変化への挑戦(・定年延長職員及び暫定再任用職員の活用 ・働き方改革:事務等の見直し、時間外勤務の縮減、育休等休暇制度の活用推進)
○ 個人の意欲ややりがい大切に、困難や苦しみをわかち合える環境づくり(コミュニケーションの充実強化)

総務

消 防 職 員
消 防 職 員 の 研 修 体 系
消 防 予 算
施 設 整 備
協 定 等 の 締 結 状 況

消 防 職 員

消防職員は、市民の防災の担い手として、住民の生命と生活を守り、安全なまちづくりを目指し、年々複雑多様化するあらゆる災害に対応すべく災害の予防、防除、救急救助等の消防業務に従事しています。

◎ 階級別年齢構成

令和5年4月1日現在

	合 計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
18歳～19歳	8	-	-	-	-	-	-	-	8
20歳～24歳	45	-	-	-	-	-	-	-	45
25歳～29歳	66	-	-	-	-	-	28	-	38
30歳～34歳	62	-	-	-	-	10	45	-	7
35歳～39歳	21	-	-	-	-	13	6	-	2
40歳～44歳	36	-	-	-	8	20	6	2	-
45歳～49歳	59	-	-	2	29	17	10	1	-
50歳～54歳	26	-	-	8	3	10	5	-	-
55歳～59歳	28	1	4	8	3	-	8	4	-
60歳～64歳	33	-	1	-	-	-	26	6	-
合 計	384	1	5	18	43	70	134	13	100

※再任用職員33名を含む。

※平均年齢36.9歳(再任用職員は含まない。)

◎ 勤務年数別職員構成

区 分	職員数(人)	構成率(%)
5年未満	69	19.7%
5年以上10年未満	73	20.8%
10年以上15年未満	53	15.1%
15年以上20年未満	61	17.4%
20年以上25年未満	35	10.0%
25年以上30年未満	30	8.5%
30年以上35年未満	7	2.0%
35年以上	23	6.6%
合 計	351	

※再任用職員33名は含まない。

※構成率は、小数点第2位を四捨五入

◎ 消防職員の配置状況

令和5年4月1日現在

	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	会 計 年 度
合 計	384 [33] (12)	1	5 [1]	18 (1)	43	70 [1] (4)	134 [20] (2)	13 [6]	100 (5)	2
消 防 局	67 [3] (3)	1	3 [1]	8 (1)	14	18 (2)	22 [2]	-	2	1
消防総務課	3 [1]	1	3 [1]	-	-	-	-	-	-	-
派遣(消防総務課付)	16 [1] (2)	-	-	3 (1)	4	3 (1)	4 (1)	-	2	-
警 防 課	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-
予 防 課	39 [1] (1)	-	-	4	8	13 (1)	14 [1]	-	-	1
西 消 防 署	159 [13] (5)	-	1	7	16	25 (1)	56 [12] (1)	2	52 (3)	-
本 署	57 [3] (3)	-	1	3	9	9	18 [3] (1)	-	17 (2)	-
昭 和 分 署	24 [2]	-	-	2	2	2	11 [1]	1 [1]	6	-
音 戸 分 署	24 [2] (2)	-	-	2	1	5 (1)	8 [2]	-	8 (1)	-
狩留賀出張所	18 [2]	-	-	-	2	2	7 [2]	-	7	-
南 出 張 所	18 [2]	-	-	-	2	3	6 [2]	-	7	-
倉 橋 出 張 所	18 [2]	-	-	-	-	4	6 [2]	1	7	-
東 消 防 署	154 [14] (4)	-	1	3	13	27 (1)	53 [7] (1)	11 [5]	46 (2)	-
本 署	66 [2] (4)	-	1	3	8	11 (1)	20 [2] (1)	1	22 (2)	-
阿賀北出張所	10 [2]	-	-	-	-	3	3	2 [2]	2	-
仁方出張所	10 [2]	-	-	-	-	2	4 [1]	1 [1]	3	-
郷原出張所	10 [2]	-	-	-	-	2	5 [2]	1	2	-
川尻出張所	10 [2]	-	-	-	-	2	4 [1]	2 [1]	2	-
蒲刈出張所	18 [2]	-	-	-	3	2	4 [1]	3 [1]	6	-
安浦出張所	18 [2]	-	-	-	2	3	7 [2]	-	6	-
大崎下島出張所	12	-	-	-	-	2	6	1	3	-
防災センター	-	-	-	-	-	-	3 [3]	-	-	1

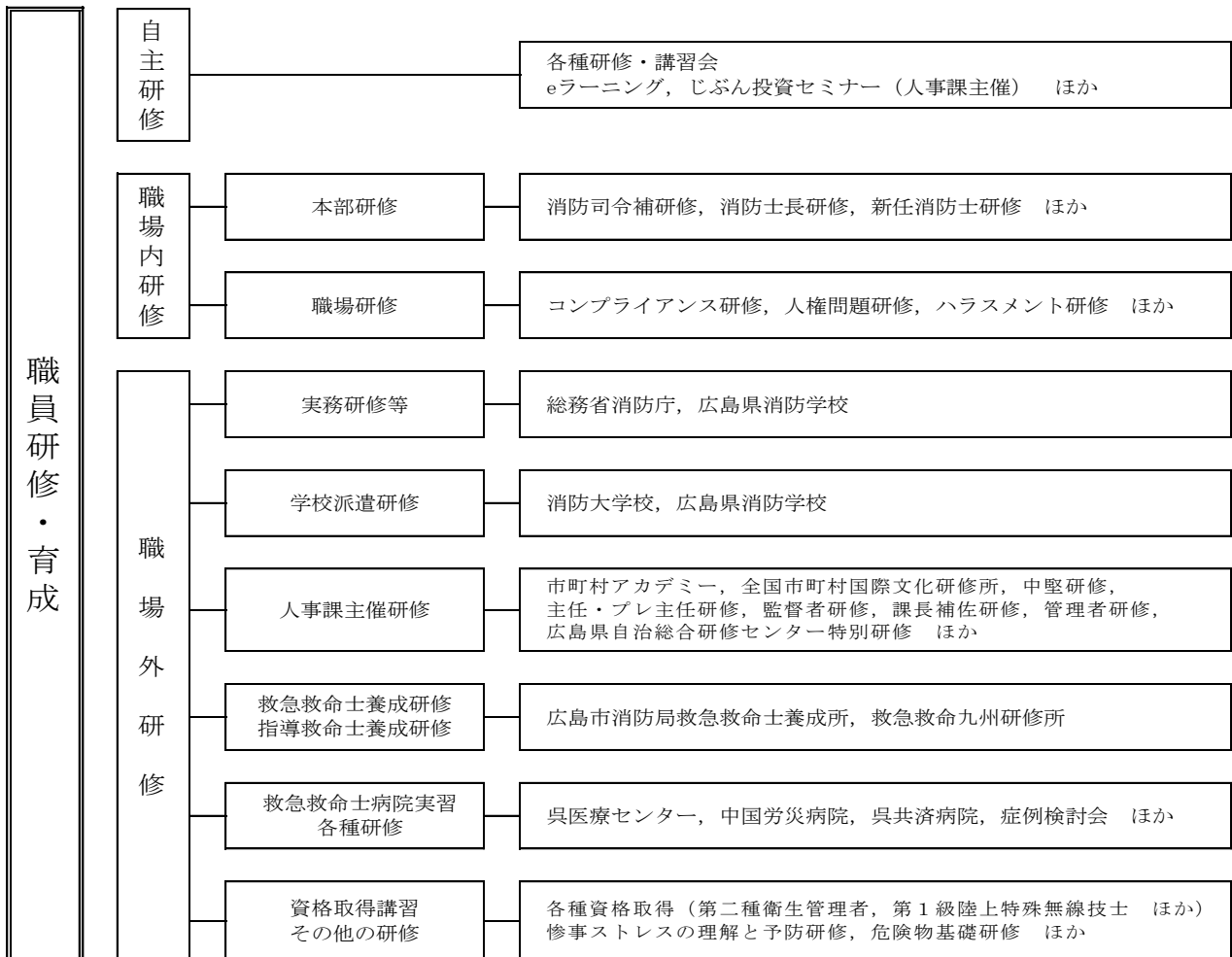
※注1 [] 内は、再任用職員で内数

※注2 () 内は、女性職員で内数

呉市消防局人材育成基本方針の「目指すべき消防職員像」の実現を目指して研修計画を作成し、『自ら育つ、みんなで育てる』を理念として各種研修に取り組んでいます。

◎ 呉市消防局の目指すべき職員像

- (1) 市民の立場で考え行動する職員
- (2) 常に改革・改善に取り組む職員
- (3) 市民に信頼される職員
- (4) 法令を遵守し、規律と礼儀を重んじ、親切・丁寧な対応ができる職員
- (5) 常に学習意欲を持って自己啓発に努め、階級、階層及び立場に応じた高度な専門的知識や能力を持つ職員



◎ 令和4年度 職員研修結果

1 消防大学校【3種・3名】

種 別	期間	人員
幹 部 科	46日	1名
危 険 物 科	30日	1名
N B C コー ス	21日	1名

2 広島県消防学校【12種・66名】

種 別	期間	人員	
初 任 教 育	176日	18名	
救 助 科	29日	6名	
救 急 科	前 期	55日	11名
	後 期	52日	11名
予 防 査 察 科	防 火 査 察 課 程	14日	2名
	消 防 用 設 備 等 課 程	14日	2名
警 防 科	12日	1名	
初 級 幹 部 科	12日	2名	
救 急 救 命 士 教 育	ス キ ル ア ッ プ	5日	2名
	リ ー ダ ー シ ッ プ	5日	2名
ビ デ オ 硬 性 挿 管 用 喉 頭 鏡 講 習	1日	3名	
現 場 指 揮 養 成 教 育	5日	1名	
上 級 救 助 隊 員 コー ス	12日	4名	
J P T E C イ ン ス ト ラ ク タ ー コー ス	1日	1名	

3 その他の研修【10種・110名】

種 別	期間	人員
安 全 衛 生 研 修 会	1日	2名
安 全 運 転 管 理 者 法 定 講 習	1日	3名
若 手 職 員 連 携 強 化 研 修 会	1日	2名
消 防 職 員 の た め の 惨 事 ス ト レ ス の 理 解 と 予 防	2日	1名
消 防 職 員 安 全 衛 生 管 理 研 修 会	2日	1名
従 来 型 喉 頭 鏡 に よ る 気 管 挿 管 病 院 実 習	60日	2名
ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 に よ る 気 管 挿 管 病 院	10日	2名
静 脈 路 確 保 講 習 会	1日	70名
気 管 挿 管 再 講 習 病 院 実 習	6日	6名
再 教 育 病 院 実 習	6日	21名

4 資格取得講習【11種・32名】

種 別	期間	人員
第 二 種 衛 生 管 理 者 免 許	1日	3名
第 1 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士 講 習	10日	2名
玉 掛 技 能 講 習	3日	1名
小 型 移 動 式 ク レ ーン 運 転 技 能 講 習	3日	1名
潜 水 士	1日	2名
二 級 小 型 船 舶 操 縦 士 講 習	2日	2名
大 型 自 動 車 運 転 免 許	-	8名
救 急 救 命 士 養 成 就 業 前 研 修	30日	5名
救 急 救 命 士 養 成 受 講 準 備 研 修	7日	3名
救 急 救 命 士 養 成 課 程 研 修	203日	3名
指 導 救 命 士 養 成	42日	2名

5 広島県自治総合研修【5種・22名】

種 別	期間	人員
公 務 災 害 防 止 研 修	1日	4名
タ イ ム マ ネ ジ メ ン ト 研 修	1日	5名
メ デ ィ ア 対 応 研 修	1日	4名
メ ン タ ル ヘ ル ス 研 修	1日	3名
説 明 力 向 上 研 修	1日	6名

6 呉市主催研修【20種・151名】

種 別	期間	人員
副 部 長 研 修	1日	1名
管 理 者 特 別 研 修	1日	1名
所 属 長 研 修	1日	3名
管 理 者 研 修	1日	3名
課 長 補 佐 研 修	1日	13名
監 督 者 研 修	1日	8名
監 督 者 II 研 修	1日	6名
人 事 考 課 (1 次) 研 修	1日	6名
人 事 考 課 (2 次) 研 修	1日	2名
主 任 ・ プ レ 主 任 研 修	1日	5名
副 主 任 研 修	1日	3名
中 堅 (II) 研 修	1日	16名
人 権 研 修	1日	2名
デ ジ タ ル 人 材 育 成 研 修	1日	4名
情 報 セ キ ュ リ テ ィ 研 修	1日	2名
ハ ラ ス メ ン ト 防 止 研 修	1日	4名
ス キ ル ア ッ プ 研 修	3日	31名
ブ ラ ッ シ ュ ア ッ プ 研 修	1日	28名
安 全 運 転 研 修	1日	1名
職 場 環 境 改 善 研 修	1日	12名

7 消防主催研修【5種・105名】

種 別	期間	人員
新 任 消 防 士 研 修	2日	18名
議 会 研 修	1日	20名
ハ ラ ス メ ン ト 研 修 (外 部 講 師)	1日	50名
消 防 士 長 研 修	2日	11名
消 防 司 令 補 研 修	2日	6名

消 防 予 算

当市における令和5年度一般会計当初予算額は、1,062億8,300万円で、このうち消防費は、37億7,589万円で構成比は3.6%です。

(単位:千円)

一般会計 予算額	消防費			
	消防費 予算額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費
106,283,000	3,775,818	3,085,714	242,442	447,662

◎ 過去5年間の予算概要

(単位:円)

年 度	一 般 会 計	消 防 費	構 成 比
平成30年度	98,830,000,000	5,095,871,000	5.2%
令和元年度	100,294,000,000	5,229,512,000	5.2%
令和2年度	100,402,000,000	3,764,468,000	3.7%
令和3年度	97,346,000,000	3,673,021,000	3.8%
令和4年度	100,803,000,000	3,535,361,000	3.5%

施設整備

施設の整備は、年次計画的に鋭意進めています。
令和4年度に実施した整備事業は、次のとおりです。

事業名 (事業費:千円)	主な事業内容
消防車両整備事業 (99,966)	<ul style="list-style-type: none"> ○2B型救急自動車(阿賀北救急1号車)更新 ○2B型救急自動車(南救急1号車)更新 ○消防用自動車(くれ11号車・くれ16号車)更新 ○消防ポンプ自動車(西2号車)更新 ○指揮調査車(くれ4号車)更新 ○多目的車(くれ22号車)配備
消防水利整備事業 (10,119)	<ul style="list-style-type: none"> ○防火水槽撤去工事(上平原町地区)
消防資機材整備事業 (44,598)	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車積載用資機材(南救急1号車) 1式 ○救急車積載用資機材(阿賀北救急1号車) 1式 ○防火衣(更新15着,新規18着) 33着 ○高圧空気ボンベ 12本 ○消防車積載用AED 2台
消防庁舎等建設事業 (396)	<ul style="list-style-type: none"> ○新庁舎建設工事に伴う地歴調査 ○新庁舎建設工事に伴う試掘調査
消防団詰所等整備事業 (267)	<ul style="list-style-type: none"> ○測量設計業務(広東分団(広白石4)詰所)
消防団車両等整備事業 (49,952)	<ul style="list-style-type: none"> ○小型動力ポンプ付積載車 7台 (広中央分団, 広南分団, 本通分団, 湾岸分団, 安浦安登分団, 倉橋西分団, 倉橋東分団)

協定等の締結状況

協定名	締結年月日	締結機関	協定の概要
呉市消防局と呉海上保安部による業務協定	昭和43年 10月1日	呉海上保安部	船舶の火災活動に関する協約 ※ 令和元年5月30日廃止
呉市と在日米陸軍による消防相互援助協約	昭和45年 9月16日	在日米陸軍	管轄区域内の火災を対象
ガス漏れ及びガス爆発事故防止に関する業務協約	昭和63年 12月1日	広島ガス(株)	ガス災害を未然防止及び災害活動に関する協約
広島県防災ヘリコプター応援協定	平成8年 7月11日	広島県	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市と今治市との消防相互応援に関する協定	平成20年 11月18日	今治市	呉市及び今治市の応援実施区域内における救急事案に対する相互応援
広島県内広域消防相互応援協定	平成29年 6月1日	県内全市町 消防組合	協定市町で発生した災害に対する相互応援
広島県内航空消防応援協定	平成29年 9月1日	広島市	回転翼航空機を用いた災害応援
呉市消防局と呉海上保安部との消防活動等に関する業務協定	令和元年 5月30日	呉海上保安部	消防活動と海難救助活動に関し、両機関が相互に協力する協約

予 防

予 防 査 察
建 築 物 の 防 火 指 導
火 薬 類 の 規 制
危 険 物 の 規 制
高 圧 ガ ス の 保 安
消 防 ク ラ ブ
防 災 セ ン タ ー

予 防 査 察

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の現況

令和5年3月31日現在

政令区分		署 別	合 計	署 別	
				西消防署	東消防署
1	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場	5	2	3
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	146	69	77
2	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー	-	-	-
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	14	13	1
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等	-	-	-
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	3	2	1
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	4	4	-
	ロ	飲 食 店	82	51	31
4		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	225	115	110
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	108	52	56
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	1,664	845	819
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	150	84	66
	ロ	福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設	85	52	33
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 等	158	90	68
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	37	16	21
7		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 ・ 各 種 学 校	267	131	136
8		図 書 館 ・ 博 物 館	17	12	5
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	-	-	-
	ロ	そ の 他 の 公 衆 浴 場	7	5	2
10		停 車 場 ・ 棧 橋	3	2	1
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	82	60	22
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	990	349	641
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	-	-	-
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	134	78	56
	ロ	飛 行 機 ・ 回 転 翼 航 空 機 の 格 納 庫	-	-	-
14		倉 庫	445	191	254
15		前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 場	613	349	264
16	イ	特 定 用 途 の 複 合 対 象 物	676	471	205
	ロ	そ の 他 の 複 合 対 象 物	558	367	191
16の2		地 下 街	-	-	-
16の3		準 地 下 街	-	-	-
17		重 要 文 化 財	13	5	8
18		延 長 50m 以 上 の ア ー ケ ード	6	6	-
合 計			6,492	3,421	3,071

◎ 防火管理者を必要とする対象物の現況

令和5年3月31日現在

政令区分		署別	合計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	5	3	2
	ロ	公会堂・集会場	141	66	75
2	イ	キャバレー・カフェー	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	12	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	2	1	1
3	イ	待合・料理店	5	4	1
	ロ	飲食店	72	45	27
4		百貨店・マーケット	176	85	91
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	38	19	19
	ロ	寄宿舎・共同住宅	289	166	123
6	イ	病院・診療所	42	23	19
	ロ	福祉施設・救護施設	58	35	23
	ハ	老人デイサービスセンター等	96	56	40
	ニ	幼稚園・養護学校	20	14	6
7		小・中・高・大・各種学校	87	46	41
8		図書館・博物館	13	7	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-
	ロ	その他の公衆浴場	3	1	2
10		停車場・栈橋	1	-	1
11		神社・寺院・教会	57	44	13
12	イ	工場・作業場	58	21	37
	ロ	映画・テレビスタジオ	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	2	1	1
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	-	-	-
14		倉庫	16	7	9
15		前各号に該当しない事業場	117	62	55
16	イ	特定用途の複合対象物	467	320	147
	ロ	その他の複合対象物	90	61	29
16の2		地下街	-	-	-
16の3		準地下街	-	-	-
17		重要文化財	4	1	3
18		延長50m以上のアーケード	-	-	-
合計			1,872	1,100	772

◎ 消防用設備等を必要とする対象物の査察実施状況

令和4年度

政令区分		署別	合計	西消防署	東消防署
1	イ	映画館・観覧場	6	2	4
	ロ	公会堂・集会場	61	24	37
2	イ	キャバレー・カフェー	-	-	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	7	5	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	-	-	-
	ニ	カラオケボックス等	1	1	-
3	イ	待合・料理店	4	4	-
	ロ	飲食店	20	11	9
4		百貨店・マーケット	79	32	47
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	61	24	37
	ロ	寄宿舎・共同住宅	388	194	194
6	イ	病院・診療所	58	30	28
	ロ	福祉施設・救護施設	33	14	19
	ハ	老人デイサービスセンター等	67	32	35
	ニ	幼稚園・養護学校	19	7	12
7		小・中・高・大・各種学校	130	74	56
8		図書館・博物館	9	4	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	-	-	-
	ロ	その他の公衆浴場	5	2	3
10		停車場・栈橋	1	1	-
11		神社・寺院・教会	19	13	6
12	イ	工場・作業場	299	78	221
	ロ	映画・テレビスタジオ	-	-	-
13	イ	自動車車庫・駐車場	29	14	15
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	-	-	-
14		倉庫	125	49	76
15		前各号に該当しない事業場	157	80	77
16	イ	特定用途の複合対象物	233	165	68
	ロ	その他の複合対象物	127	79	48
16の2		地下街	-	-	-
16の3		準地下街	-	-	-
17		重要文化財	11	5	6
18		延長50m以上のアーケード	1	1	-
合計			1,950	945	1,005

建築物の防火指導

◎ 建築同意の状況

令和4年度

種別 署別	合計			一般住宅			その他		
	受付 件数	同意 件数	不同意 件数	受付 件数	同意 件数	不同意 件数	受付 件数	同意 件数	不同意 件数
合計	219	219	-	106	106	-	113	113	-
予防課	7	7	-	-	-	-	7	7	-
西消防署	120	120	-	70	70	-	50	50	-
東消防署	92	92	-	36	36	-	56	56	-

◎ 消防用設備等の届出状況

令和4年度

区分	署別	合計	予防課	西消防署	東消防署
工事整備対象 設備等着工届	新築	74	-	27	47
	増改築	200	5	100	95
消防用設備等 免除申請書	新築	27	1	10	16
	増改築	68	1	24	43
消防用設備等 設置届	新築	29	-	11	18
	増改築	160	3	105	52
防火対象物 使用届	新築	39	-	20	19
	増改築	219	3	99	117

◎ 違反処理状況

年度	公表	警告	命令
令和元年度	6	1	-
令和2年度	-	4	4
令和3年度	1	2	-
令和4年度	-	7	1

◎ 届出対象物の現況

令和5年3月31日現在

種 別		署 別	合計	西消防署	東消防署
炉・温風暖房機			239	144	95
厨房設備			16	7	9
ボイラー			564	332	232
乾燥設備			127	69	58
サウナ設備			26	21	5
ヒートポンプ冷暖房機			6	5	1
火花を生ずる設備			1	-	1
放電加工機			7	6	1
変電設備			1,982	1,163	819
急速充電設備			-	-	-
発電設備			310	203	107
燃料電池発電設備			-	-	-
蓄電池設備			399	238	161
ネオン管灯設備			25	22	3
貯蔵 取扱 所	少量危険物		887	518	369
	指定可燃物		166	49	117
	圧縮アセチレンガス		33	14	19
	無水硫酸		3	-	3
	液化石油ガス		805	427	378
	生石灰		20	14	6
	毒物 劇物		- 29	- 15	- 14
合 計			5,645	3,247	2,398

◎ 届出対象物の査察実施状況

令和4年度

種 別		署 別	合計	西消防署	東消防署
炉・温風暖房機			29	7	22
厨房設備			6	4	2
ボイラー			176	90	86
乾燥設備			32	16	16
サウナ設備			5	3	2
ヒートポンプ冷暖房機			-	-	-
火花を生ずる設備			-	-	-
放電加工機			2	2	-
変電設備			499	256	243
急速充電設備			-	-	-
発電設備			81	50	31
燃料電池発電設備			-	-	-
蓄電池設備			30	23	7
ネオン管灯設備			4	4	-
貯蔵 取扱 所	少量危険物		186	80	106
	指定可燃物		20	7	13
	圧縮アセチレンガス		10	3	7
	無水硫酸		-	-	-
	液化石油ガス		164	84	80
	生石灰		-	-	-
	毒物 劇物		- -	- -	- -
合 計			1,244	629	615

◎ 各種届出書等の受理状況

令和4年度

区 分		署 別	合 計	西消防署	東消防署
合 計			1,912	1,091	821
法 第 8 条 ・ 法 第 3 6 条	小 計		809	523	286
	防 火 管 理 者 選 任		245	145	100
	防 火 管 理 者 解 任		226	141	85
	防 災 管 理 者 選 任		4	3	1
	防 災 管 理 者 解 任		4	3	1
	消 防 計 画 作 成 ・ 変 更 (火 災)		315	220	95
	消 防 計 画 作 成 ・ 変 更 (地 震)		15	11	4
法 第 9 条 の 3	小 計		41	26	15
	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス		9	7	2
	液 化 石 油 ガ ス		29	19	10
	無 水 硫 酸		1	-	1
	生 石 灰		2	-	2
	毒 物		-	-	-
	劇 物		-	-	-
条 例	小 計		1,062	542	520
	炉 ・ 温 風 暖 房 機		1	1	-
	厨 房 設 備		1	1	-
	ボイラー・給湯湯沸設備		26	23	3
	乾 燥 設 備		7	6	1
	サ ウ ナ 設 備		-	-	-
	ヒートポンプ冷暖房機		2	1	1
	火花を生ずる設備		-	-	-
	放 電 加 工 機		-	-	-
	変 電 設 備		68	51	17
	急 速 充 電 設 備		-	-	-
	発 電 設 備		15	14	1
	燃 料 電 池 発 電 設 備		-	-	-
	蓄 電 池 設 備		13	13	-
	ネオン管灯設備		-	-	-
	少 量 危 険 物		59	18	41
	指 定 可 燃 物		19	6	13
	禁 止 行 為 の 解 除 承 認		4	3	1
	水素ガスを充てんする気球		-	-	-
	火災とまぎらわしい行為等		780	349	431
煙 火 の 消 費		10	8	2	
催 物		3	3	-	
露 店 等		54	45	9	
指 定 洞 道		-	-	-	

◎ 防火対象物定期点検報告と特例認定状況

令和4年度

区分	署別	合計	西消防署	東消防署
防火対象物定期点検報告		105	58	47
防火対象物特例認定の認定数		54	43	11

◎ 防災管理者の選任届・自衛消防組織届出現況

令和5年3月31日現在

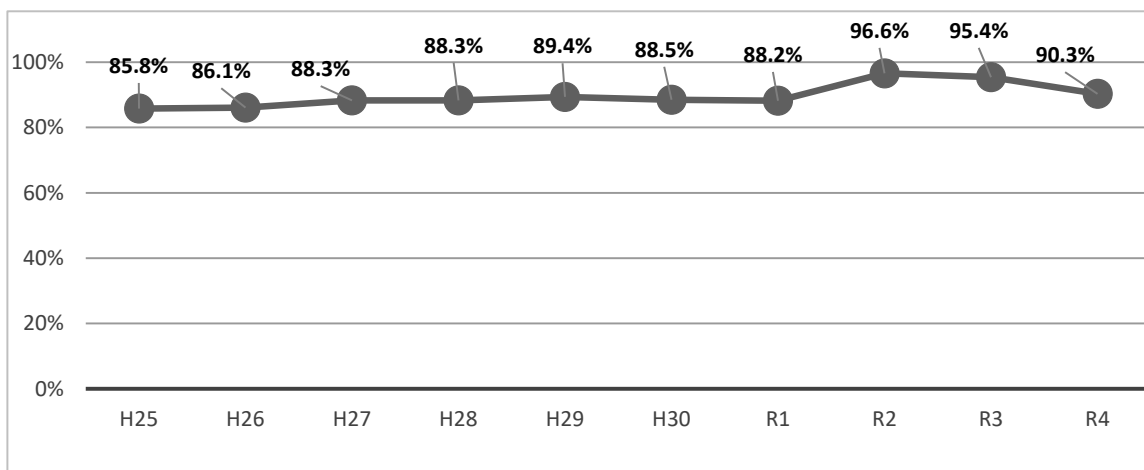
区分	署別	合計	西消防署	東消防署
防災管理者選任届出数		22	14	8
自衛消防組織設置届出数		22	14	8

◎ 中高層建築物の現況（消防用設備等を必要とするもの）

令和5年3月31日現在

階数 署別	合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	19階
	合計	2,794	1,091	794	405	127	88	75	43	47	30	26	15	36	16
西消防署	1,743	548	534	291	103	55	56	33	38	21	20	5	25	13	1
東消防署	1,051	543	260	114	24	33	19	10	9	9	6	10	11	3	-

◎ 住宅用火災警報器の設置率



※ 調査方法が無作為抽出方式のため、設置率が減少する場合があります。

火薬類の規制

◎ 火薬類関係事業所数

令和5年3月31日現在

区分	種類別	事業所数
火薬類製造	産業火薬	-
	煙火	-
	小計	-
火薬類販売	産業火薬類	3
	実包及び猟用火薬類	-
	建設用鋸打銃用空包	-
	船舶用火工品	1
	煙火	-
	競技用紙雷管	2
	小計	6
合計		6

◎ 火薬類関係貯蔵箇所数

令和5年3月31日現在

種類別	業種別	所有者数	棟数	うち休止棟数
1級火薬庫	火薬類製造	-	-	-
	火薬類販売	2	4	-
	建設	-	-	-
	採石	-	-	-
	鋳業	-	-	-
	小計	2	4	-
2級火薬庫	建設	-	-	-
3級火薬庫	火薬類製造	-	-	-
	火薬類販売	-	-	-
	その他	-	-	-
	小計	-	-	-
水蓄火薬庫	火薬類製造	-	-	-
実包火薬庫	火薬類販売	-	-	-
煙火火薬庫	火薬類製造	-	-	-
	火薬類販売	1	1	-
	その他	-	-	-
	小計	1	1	-
合計		3	5	-
火薬庫外貯蔵所	火薬類販売	2	2	
	建設	-	-	
	採石	-	-	
	その他	3	3	
	合計	5	5	

◎ 火薬類許可件数

令和4年度

許 可 区 分			許 可 件 数
譲 渡	目的	残 火 薬 の 処 分	-
		そ の 他	-
	小 計		-
譲 受 (注1)	目的	建 設 工 事	-
		採 石	-
		鉱 業	-
		そ の 他	1
	小 計		1
譲受・消費 (注2)	目的	建 設 工 事	1
		採 石	3
		そ の 他	-
	小 計		4
消 費 (注3)	目的	建 設 工 事	-
		採 石	-
		そ の 他	-
	小 計		-
その他許可	煙 火 等 製 造	-	
	製 造 施 設 変 更	-	
	火 薬 類 販 売	-	
	火 薬 庫 設 置 ・ 移 転	-	
	火 薬 庫 変 更	-	
	煙 火 消 費	9	
	廃 棄	-	
	輸 入	-	
	小 計		9
合 計			14

注1 「譲受」は譲受についてのみの許可

注2 「譲受・消費」は消費の許可とあわせて譲受の許可を行ったもの

注3 「消費」は消費についてのみの許可（煙火消費許可を除く。）

◎ 火薬庫保安検査実施棟数

令和4年度

種類別	1級	2級	3級	水蓄	実包	煙火	合計
実施棟数	4	—	—	—	—	1	5

◎ 火薬類立入検査実施件数

令和4年度

区分 業種別	消費 場所	火薬庫 (棟数)	火薬庫外 貯蔵所	製造所	販売所	合計
火薬類製造販売	—	5	2	—	6	13
建設	—	—	—	—	—	—
採石	3	—	—	—	—	3
その他	9	—	3	—	—	12
合計	12	5	5	—	6	28

◎ 火薬類届出状況

令和4年度

項目	届出件数
火薬類取扱保安責任者等選任・解任届	4
許可申請書等記載事項変更報告（届出）書	3
廃止届	—
貯蔵火薬類等変更届（火薬庫）	—
貯蔵火薬類等変更届（火薬庫外）	1
火薬庫継承届	—
使用休止届	—
軽微変更届	—
その他	22
合計	30

危険物の規制

◎ 危険物施設現況

令和5年3月31日現在

署別 区分	合計	西消防署	東消防署
屋内貯蔵所	106	59	47
屋外タンク貯蔵所	45	21	24
屋内タンク貯蔵所	14	10	4
地下タンク貯蔵所	67	40	27
簡易タンク貯蔵所	6	2	4
移動タンク貯蔵所	59	31	28
屋外貯蔵所	24	20	4
給油取扱所	80	35	45
第1種販売取扱所	2	1	1
第2種販売取扱所	1	1	-
移送取扱所	3	3	-
一般取扱所	114	70	44
合計	521	293	228

◎ 危険物施設査察実施状況

令和4年度

署別 区分	合計	西消防署	東消防署
屋内貯蔵所	30	13	17
屋外タンク貯蔵所	9	-	9
屋内タンク貯蔵所	5	3	2
地下タンク貯蔵所	31	16	15
簡易タンク貯蔵所	4	-	4
移動タンク貯蔵所	29	25	4
屋外貯蔵所	3	1	2
給油取扱所	55	28	27
第1種販売取扱所	1	1	-
第2種販売取扱所	1	1	-
移送取扱所	-	-	-
一般取扱所	27	11	16
合計	195	99	96

◎ 危険物関係事務処理状況

令和4年度

区 分		所 管 別			
		合 計	予防課	西消防署	東消防署
許 可	設 置	7	7		
	変 更	26	5	15	6
完 成 検 査	設 置	5	5		
	変 更	22	3	13	6
仮 使 用 承 認		21	1	15	5
予 防 規 程 認 可		5	-	5	-
タ ン ク 検 査		30	-	1	29
仮貯蔵・仮取扱承認		5	-	2	3
届 出 処 理	譲 渡 引 渡	3	-	-	3
	品 名・数 量・ 指定数量の倍数変更	7	-	3	4
	廃 止	31	25	4	2
	災 害（事故）発生届	1	-	-	1
	保安監督者選任・解任	50	10	22	18
	休 止 ・ 再 開	-	-	-	-
	軽 微 な 変 更 ・ 規 制 外 の 変 更	47	22	19	6
	消 防 用 設 備 等 着 工 届	-	-	-	-
	設 置 者 変 更	109	43	52	14
	管 理 者 変 更	15	-	7	8
そ の 他		1	-	1	-
総 事 務 処 理 件 数		385	121	159	105

高圧ガスの保安

◎高圧ガス事業所の現況

令和5年3月31日現在

第一種製造者	第二種製造者	販売業者	第一種貯蔵所	第二種貯蔵所	特定高圧ガス消費者
34	305	132	12	28	30

◎高圧ガス保安法事務処理状況

令和4年度

区 分	件 数	区 分	件 数
高圧ガス製造許可申請	-	貯蔵所廃止届	1
高圧ガス製造事業届	9	高圧ガス販売廃止届書	2
許可の取消し	-	高圧ガス製造施設休止届	-
製造事業者承継届	6	特定高圧ガス消費届	-
高圧ガス製造施設等変更許可申請	-	特定高圧ガス消費者承継届	2
高圧ガス製造施設軽微変更届	7	特定高圧ガス消費設備等変更届	1
高圧ガス製造施設等変更届	-	特定高圧ガス消費廃止届	2
第一種貯蔵所設置許可申請	-	危害予防規程届	4
第一種貯蔵所承継届	1	保安統括者, 保安技術管理者, 保安係員, 保安監督者選・解任届	9
第二種貯蔵所設置届	-		
第一種貯蔵所位置等変更許可申請	-	保安統括者代理者選・解任届	4
第一種貯蔵所軽微変更届	-	保安主任者, 保安企画推進員選・解任届	-
第二種貯蔵所位置等変更届	1		
製造施設完成検査申請	-	冷凍保安責任者選・解任届	-
第一種貯蔵所完成検査申請	-	冷凍保安責任者代理者選・解任届	-
指定完成検査機関完成検査受検届	-	販売主任者選・解任届	4
高圧ガス保安協会完成検査受検届	-	特定高圧ガス取扱主任者選・解任届	3
認定完成検査実施者完成検査届	-	保安検査(消防局実施)	5
高圧ガス販売事業届	1	高圧ガス保安協会保安検査受検届	2
高圧ガス販売事業承継届	2	指定保安検査機関保安検査受検届	13
販売に係る高圧ガスの種類変更届	2	緊急停止命令	-
高圧ガス製造開始届	-	事故届	-
製造者廃止届	14	合 計	95

消防クラブ

少年消防クラブ（B.F.C）は、昭和25年に消防庁がその結成を呼び掛けたのが始まりで、当時は呉市立三坂地小学校や二河中学校（現：呉中央中学校）など25校にクラブが結成されました。現在では民間防火組織の結成指導に呼応して、昭和56年11月呉市警固屋地区子ども会連合会（現：警固屋子ども会）に少年消防クラブが結成されたのに続いて、幼年消防クラブ10団体、女性防火クラブ1団体の合計12団体が結成されています。

1 幼年消防クラブ

令和5年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
中新開子ども会幼年消防クラブ	昭和56年12月6日	19
焼山めいわ保育園幼年消防クラブ	平成4年11月5日	25
仁方こども園幼年消防クラブ	平成7年2月24日	57
明德保育所幼年消防クラブ	平成7年7月13日	12
なぎさ音戸保育園幼年消防クラブ	令和3年4月1日	17
名田保育園幼年消防クラブ	平成10年2月15日	54
認定こども園せいれんじ幼年消防クラブ	平成10年6月21日	197
昭和幼稚園・保育園幼年消防クラブ	平成10年10月19日	40
横路保育所幼年消防クラブ	平成14年6月21日	56
きらきら音戸保育園幼年消防クラブ	平成20年7月2日	47

2 少年消防クラブ

令和5年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
警固屋子ども会少年消防クラブ	昭和56年11月29日	58

3 女性防火クラブ

令和5年3月31日現在

組 織 名	設立年月日	クラブ員数
女子畑女性防火クラブ	平成17年4月1日	24

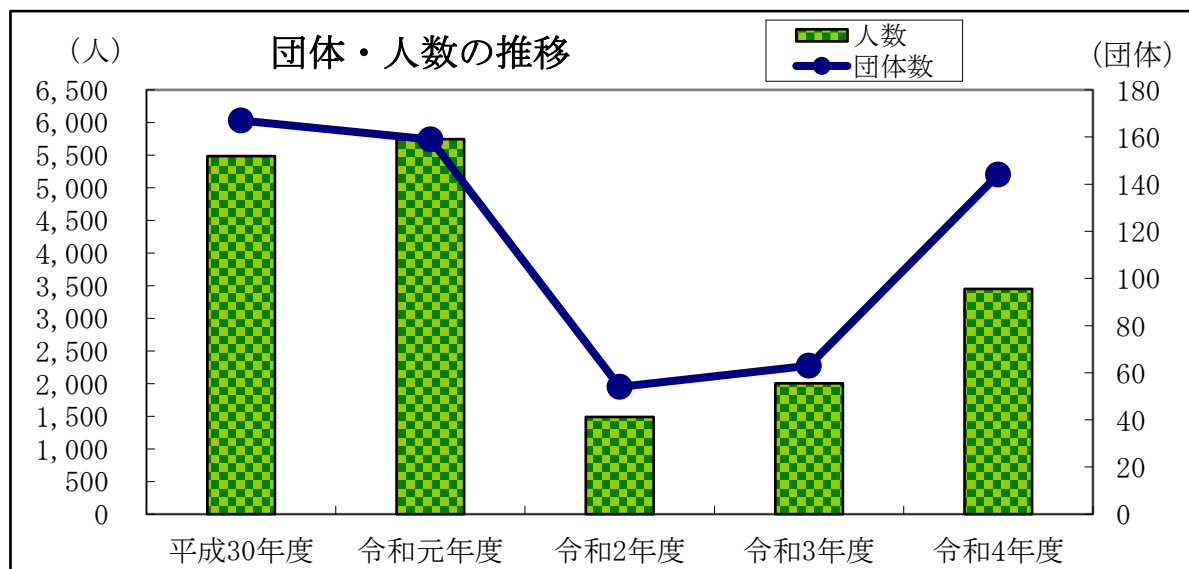
防災センター

呉市防災センターは、市民の防災に関する知識及び技術の向上並びに防災意識の高揚を図ることを目的とし、昭和60年12月に設置しました。

防災センターの入館状況は、令和4年度中に144団体、利用者は個人を含めて3,450人であり、その内訳は次のとおりです。

			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
個人	大人	人数	197	138	92	60	135
	子供	人数	302	255	83	40	130
	小計		499	393	175	100	265
団体	自治会・自主防災会	団体数	4	4	2	-	2
		人数	209	82	29	-	18
	子供会	団体数	1	-	-	-	-
		人数	38	-	-	-	-
	学校	団体数	27	32	9	10	15
		人数	1,525	2,091	364	641	608
	保育所・幼稚園	団体数	28	23	15	15	24
		人数	1,066	865	531	519	685
	防火クラブ等	団体数	5	6	4	4	5
		人数	143	173	131	160	152
	事業所	団体数	71	12	7	11	20
		人数	1,269	224	36	184	287
	救急講習会	団体数	15	15	8	5	12
		人数	270	358	54	68	162
	外国人研修※	団体数	-	-	3	-	27
		人数	-	-	22	-	314
その他	団体数	16	67	6	18	39	
	人数	468	1,561	148	334	959	
小計	団体数	167	159	54	63	144	
	人数	4,988	5,354	1,315	1,906	3,185	
総計	団体数	167	159	54	63	144	
	人数	5,487	5,747	1,490	2,006	3,450	

※令和2年度から外国人研修に変更。令和元年度以前は、防火管理講習



◎ 施設の内容

(1) 展示室・事務室 (3階)



受付及び事務室



インフォメーション



消防知識Q&A
昔の消防器具コーナー



地震体験シミュレーション



煙中体験コーナー



消火シミュレーション



ホテル火災
シミュレーション



防災用品展示コーナー



呉市の防災体制コーナー



豪雨・暴風疑似体験学習コーナー

- (2) 教室 (3階) 防火講座・座談会などを開きます。
- (3) ビデオ室 (4階) ビデオプロジェクターで視覚的な学習を行います。
- (4) 実習室 (4階) 危険物の燃焼・爆発などの実験を行います。
- (5) 大教室 (5階) 防災講演・講習会等多目的に活用します。

警 防

火
出
救
救
救
消
消
消

火
急
防
防
防

原
隊
支
水
機
通

災
因
急
援
助
利
械
信

火 災

令和4年中に管内で発生した火災は85件で、前年と比較して25件増加しました。

被害状況は、死者4名、負傷者12名、火災損害額124,701千円、建物焼損床面積2,663㎡となっています。

前年に比べると、火災損害額は95,401千円増加、死者は2名増加、負傷者は6名増加となっています。

約4日に1件の割合で火災が発生し、1件当たりの損害額は約1,467千円となっています。

◎ 火災概況

(令和4年中)

区 分		具 市
火災発生件数(件)		85
建物火災件数(件)		47
建物焼損床面積(㎡)		2,663
焼損棟数(棟)		82
火災損害額(千円)		124,701
建物火災損害額(千円)		124,400
り災世帯(世帯)		44
り災人員(人)		99
死 者(人)		4
負 傷 者(人)		12
1 日 均	出火件数(件)	0.23
	損害額(千円)	342
	建物焼損床面積(㎡)	7.30
	焼損棟数(棟)	0.22
火災1件当たりの損害額(千円)		1,467
建物火災1件当たりの損害額(千円)		2,647



出火原因

令和4年中の出火原因は「たき火」が16件で第1位、「たばこ」が9件で第2位、「こんろ」が6件で第3位、「配線器具」が5件で第4位、「枯草焼き」が4件で第5位となっています。

◎ 過去10年間の火災の主な出火原因

(各年中)

年 別	順位		合計	1位	2位	3位	4位	5位	その他
	区分								
平成25年	原 因			たき火	たばこ	放火	風呂かまど	こんろ	
	件 数		84	23	10	5	5	4	37
	(比率)			(27.4%)	(11.9%)	(6.0%)	(6.0%)	(4.8%)	(44.0%)
平成26年	原 因			たき火	たばこ	ストーブ	交通機関内配線	こんろ	
	件 数		67	14	10	6	4	3	30
	(比率)			(20.9%)	(14.9%)	(9.0%)	(6.0%)	(4.5%)	(44.8%)
平成27年	原 因			放火	たき火	たばこ	配線器具類	その他の火花	
	件 数		91	24	18	10	5	4	30
	(比率)			(26.4%)	(19.8%)	(11.0%)	(5.5%)	(4.4%)	(33.0%)
平成28年	原 因			たき火	放火	たばこ	その他の火花	こんろ	
	件 数		72	14	8	6	4	3	37
	(比率)			(19.4%)	(11.1%)	(8.3%)	(5.6%)	(4.2%)	(51.4%)
平成29年	原 因			たばこ	たき火	放火	天ぷら油	その他の火花	
	件 数		49	7	6	4	2	2	28
	(比率)			(14.3%)	(12.2%)	(8.2%)	(4.1%)	(4.1%)	(57.1%)
平成30年	原 因			たき火	たばこ	放火	配線器具類	こんろ	
	件 数		59	12	9	7	6	4	21
	(比率)			(20.3%)	(15.3%)	(11.9%)	(10.2%)	(6.8%)	(35.6%)
令和元年	原 因			たばこ	たき火	こんろ	放火	ストーブ	
	件 数		75	13	9	5	3	3	42
	(比率)			(17.3%)	(12.0%)	(6.7%)	(4.0%)	(4.0%)	(56.0%)
令和2年	原 因			たき火	たばこ	放火	こんろ	焼却炉	
	件 数		64	17	8	4	3	3	29
	(比率)			(26.6%)	(12.5%)	(6.3%)	(4.7%)	(4.7%)	(45.3%)
令和3年	原 因			たき火	たばこ	放火	こんろ	電気装置	
	件 数		60	13	8	6	3	3	27
	(比率)			(21.7%)	(13.3%)	(10.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(45.0%)
令和4年	原 因			たき火	たばこ	こんろ	配線器具	枯草焼き	
	件 数		85	16	9	6	5	4	45
	(比率)			(18.8%)	(10.6%)	(7.1%)	(5.9%)	(4.7%)	(52.9%)

※ 「その他」は、上位5位以外の総件数を示しています。

◎ 出火原因別の月別火災件数

(令和4年中)

原因別	月 別 件 数												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
たき火	16	2	3	3	-	2	2	1	1	-	-	2	-
たばこ	9	1	-	3	-	-	1	-	1	-	1	-	2
こんろ	6	-	1	1	-	2	-	-	-	-	1	1	-
配線器具	5	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	2
枯草焼き	4	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-
放火	3	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-
電灯・電話等の配線	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
電気装置	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
灯火	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
その他	33	4	2	8	1	1	1	4	2	-	5	4	1
合 計	85	9	9	15	3	7	6	6	7	-	7	10	6
令和3年中	60	8	5	8	3	2	7	4	4	6	6	3	4

※ 原因別のその他とは、上位10位以外の総件数です。

◎ 出火原因別の火災状況

(令和4年中)

原因別	火災種別(件)							焼損面積		死傷者(人)		損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
たき火	16	4	1	-	-	-	11	226	70	-	4	7,129
たばこ	9	5	-	-	-	-	4	299	-	-	1	19,571
こんろ	6	6	-	-	-	-	-	112	-	-	3	6,126
配線器具	5	5	-	-	-	-	-	503	-	1	1	38,198
枯草焼き	4	3	-	-	-	-	1	37	-	-	-	941
放火	3	2	-	-	-	-	1	-	-	1	-	34
電灯・電話等の配線	3	2	-	-	-	-	1	250	-	-	-	2,990
電気装置	2	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1,277
火入れ	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	7
灯火	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	387
その他	33	17	-	1	1	-	14	1,233	-	2	3	48,041
合計	85	47	1	2	1	-	34	2,663	70	4	12	124,701
令和3年中	60	34	1	5	-	-	20	764	13	2	6	29,196

※ 原因別のその他とは、上位10位以外の総件数です。

◎ 用途別・原因別火災概況

(令和4年中)

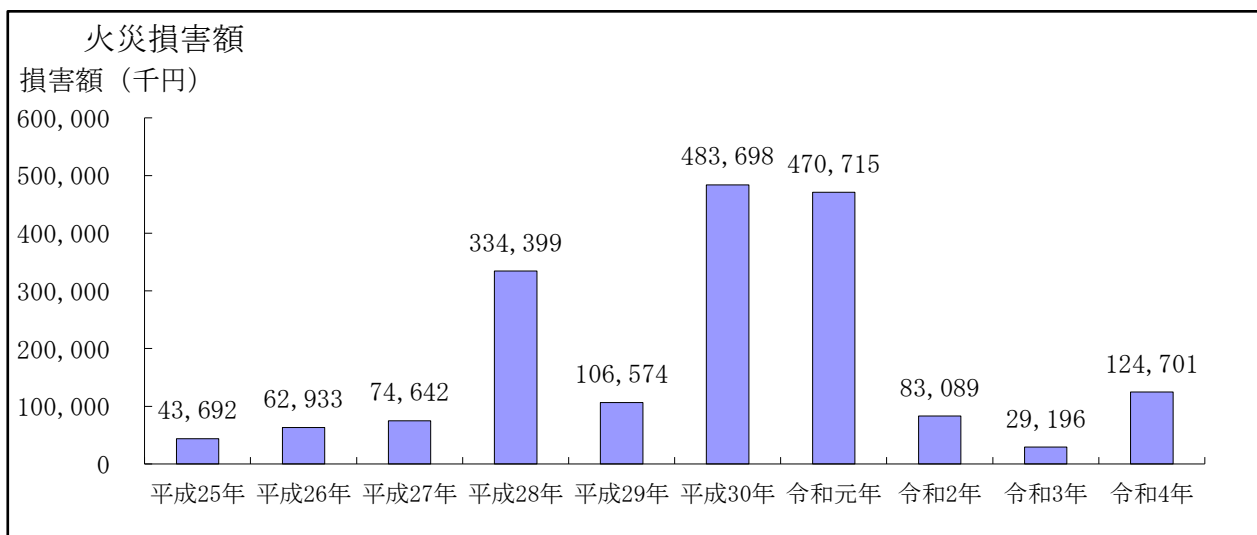
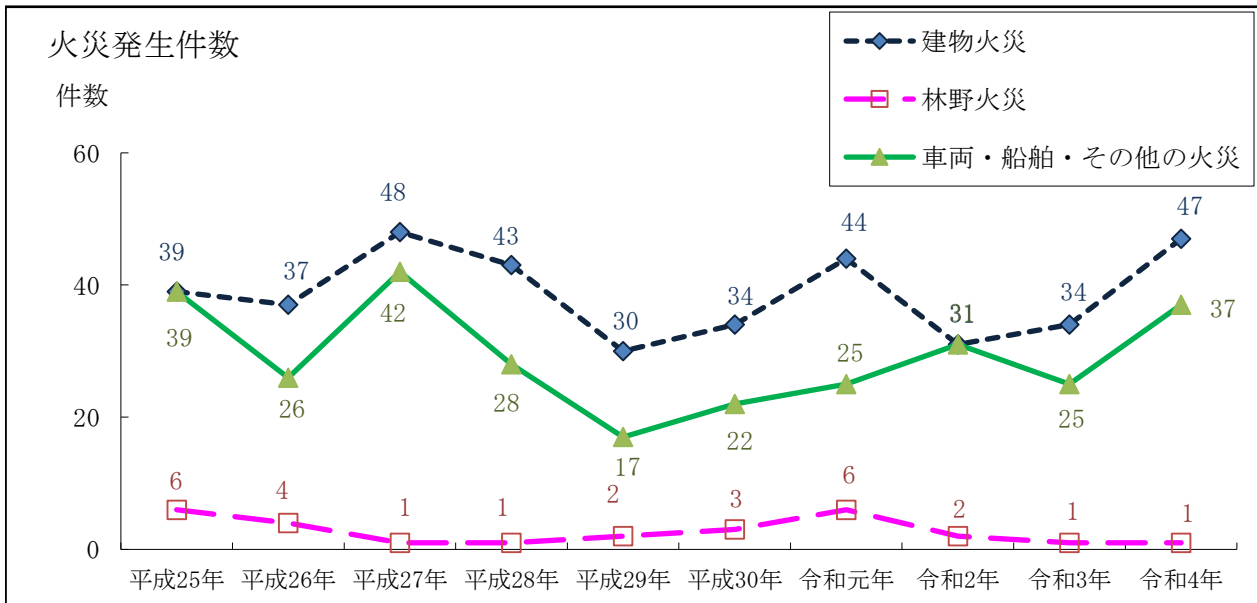
原因別	建 物 火 災											林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	そ の 他 の 火 災	総 合 計	
	住 宅 関 係				住 宅 関 係 以 外												合 計
	一 般 住 宅	共 同 住 宅	併 用 住 宅	小 計	空 家	工 場 ・ 作 業 場	車 庫 ・ 倉 庫	事 務 所	複 合 用 途 建 物	そ の 他	小 計						
たき火	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	4	4	1	-	-	11	16
たばこ	1	-	1	2	-	1	-	1	-	1	3	5	-	-	-	4	9
こんろ	2	1	-	3	-	-	-	-	1	2	3	6	-	-	-	-	6
配線器具	3	-	-	3	-	1	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	5
枯草焼き	-	-	1	1	-	-	2	-	-	-	2	3	-	-	-	1	4
放火	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	3
電灯・電話等の配線	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1	3
電気装置	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	2
火入れ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
灯火	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
その他	5	1	1	7	-	2	3	1	-	4	10	17	-	1	1	14	33
合 計	15	2	3	20	1	7	7	3	1	8	27	47	1	2	1	34	85
令和3年中	15	5	2	22	-	4	4	-	2	2	12	34	1	5	-	20	60

※ 原因別のその他とは、上位10位及び不明以外の総件数です。

◎ 過去10年間の火災の推移

(各年中)

年 別	火 災 件 数			建物焼損床面積 (㎡)	損害額 (千円)	死 傷 者 (人)	
	合 計	建物火災	建物火災 以 外			死 者	負 傷 者
平成 25 年	84	39	45	921	43,692	-	13
平成 26 年	67	37	30	1,477	62,933	3	17
平成 27 年	91	48	43	1,322	74,642	2	9
平成 28 年	72	43	29	5,049	334,399	-	9
平成 29 年	49	30	19	1,237	106,574	2	1
平成 30 年	59	34	25	3,267	483,698	2	3
令和 元 年	75	44	31	2,224	470,715	6	12
令和 2 年	64	31	33	1,091	83,089	3	11
令和 3 年	60	34	26	704	29,196	2	6
令和 4 年	85	47	38	2,663	124,701	4	12



◎ 主な火災

(令和4年中)

出火日時			場 所	火災種別	火元焼損棟				損害額 (千円)	死者	出動
月	日	曜日			全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
3	4	金	仁方西神町	建物	1				16,687	1	第1
3	9	水	倉橋町	林野					-	-	第2
3	11	金	焼山北1丁目	その他					-	-	第2
3	20	日	吉浦新出町	建物	1				6,061	-	第1
4	20	水	広横路1丁目	建物	1				12,917	-	第1
5	10	火	吉浦新町2丁目	建物	1				931	-	第2
5	30	月	下蒲刈町下島	建物	1				14,013	-	第2
6	20	月	阿賀南4丁目	建物	1				2,107	1	第1
8	2	火	中通3丁目	建物	1				2,694	-	第2
10	24	月	倉橋町	建物	1				4,343	-	第2
11	5	土	東愛宕町	建物			1		16	1	第1
11	17	木	栃原町	建物	1				6,253	-	第1
11	30	水	西辰川2丁目	建物	1				6,866	1	第1
12	1	木	倉橋町	建物		1			7,844	-	第1
12	9	金	安浦町女子畑	建物	1				2,960	-	第2
12	28	水	警固屋1丁目	建物	1				11,453	-	第1

※ 主な火災とは、次のいずれかに該当する火災

- 1 300万円以上の損害が生じた火災
- 2 死者が発生した火災
- 3 第2出動以上の火災

◎ 月 別 火 災 発 生

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								り災程度				り 災 人 員	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	火 元				類 焼				合 計	全 損	半 損	小 損		合 計
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
1月	9	4	-	-	-	-	5	-	-	2	2	-	-	-	-	4	-	-	4	4	8
2月	9	2	-	1	1	-	5	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	1	1	5
3月	15	5	1	-	-	-	9	4	-	1	-	-	-	-	1	6	2	-	1	3	7
4月	3	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	5	2	11	1	-	5	6	15
5月	7	6	-	-	-	-	1	2	-	2	2	3	-	4	-	13	1	-	-	1	1
6月	6	4	-	-	-	-	2	1	-	1	2	-	-	1	2	7	1	-	5	6	12
上半期計	49	24	1	1	1	-	22	9	-	8	7	4	-	10	5	43	5	-	16	21	48
前年同期	33	20	1	2	-	-	10	7	1	3	9	1	-	3	10	34	6	2	15	23	39
対前年差	16	4	0	△ 1	1	-	12	2	△ 1	5	△ 2	3	0	7	△ 5	9	△ 1	△ 2	1	△ 2	9

◎ 月 別 火 災 発 生

区分 月別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 棟 数								り災程度				り 災 人 員	
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	火 元				類 焼				合 計	全 損	半 損	小 損		合 計
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
7月	6	3	-	-	-	-	3	1	-	1	1	-	-	-	-	3	1	-	1	2	5
8月	7	2	-	-	-	-	5	1	-	-	1	-	-	3	-	5	-	-	4	4	8
9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10月	7	5	-	-	-	-	2	1	-	1	3	3	-	-	3	11	4	-	5	9	22
11月	10	7	-	1	-	-	2	3	-	1	3	2	1	1	2	13	1	-	4	5	8
12月	6	6	-	-	-	-	-	3	1	-	2	-	-	-	1	7	2	-	1	3	8
下半期合計	36	23	-	1	-	-	12	9	1	3	10	5	1	4	6	39	8	-	15	23	51
令和4年合計	85	47	1	2	1	-	34	18	1	11	17	9	1	14	11	82	13	-	31	44	99
令和3年合計	60	34	1	5	-	-	20	7	2	9	16	1	-	3	10	48	6	2	23	31	57
令和3年 と 令和4年 の合計比較	25	13	0	△ 3	1	-	14	11	△ 1	2	1	8	1	11	1	34	7	△ 2	8	13	42

件数及び損害額（上半期）

（令和4年中）

死傷者		焼損面積			損害額（千円）							
死者	負傷者	建物（㎡）		林野（a）	合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他
		床面積	表面積			建物	収容物（その他の損害額も含む。）					
-	-	-	45	-		462	28	433	-	-	-	-
-	1	-	5	-	190	23	7	-	88	65	-	7
1	6	365	-	70	23,824	9,032	14,716	-	-	-	-	76
-	-	304	95	-	14,545	5,492	8,853	-	100	-	-	100
-	-	277	12	-	16,163	10,337	5,826	-	-	-	-	-
1	2	106	5	-	2,175	1,841	320	-	14	-	-	-
2	9	1,052	162	70	57,359	26,753	30,155	-	202	65	-	184
2	5	683	47	13	23,814	15,410	4,560	-	246	-	-	3,868
0	4	369	115	57	33,545	11,343	25,595	0	△ 44	65	-	△ 3,684

件数及び損害額（下半期）

（令和4年中）

死傷者		焼損面積			損害額（千円）							
死者	負傷者	建物（㎡）		林野（a）	合計	建物		林野	車両	船舶	航空機	その他
		床面積	表面積			建物	収容物（その他の損害額も含む。）					
-	-	12	1	-		3,120	3,023	65	-	-	-	-
-	1	118	28	-	2,707	1,456	1,248	-	-	-	-	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	561	12	-	4,359	4,294	65	-	-	-	-	-
2	-	337	32	-	14,635	13,560	998	-	70	-	-	7
-	1	583	-	-	42,521	11,515	31,006	-	-	-	-	-
2	3	1,611	73	-	67,342	33,848	33,382	-	70	-	-	42
4	12	2,663	235	70	124,701	60,601	63,537	-	272	65	-	226
2	6	704	60	13	29,196	18,462	4,611	-	2,006	-	-	4,117
2	6	1,959	175	57	95,505	42,139	58,926	0	△ 1,734	65	-	△ 3,891

◎ 建物火災

次の表のとおり、令和4年中の死者は4名（前年比2名増）、負傷者は12名（前年比6名増）となり、火災総件数は85件（前年比25件増）となっています。

（各年中）

区 分	令和3年	令和4年	増減
火 災 総 件 数 (件)	60	85	25
全火災種別における損害額 (千円)	29,196	124,701	95,505
建 物 火 災 (件)	34	47	13
建物焼損床面積 (㎡)	704	2,663	1,959
焼 損 棟 数 (棟)	48	82	34
建物火災における損害額 (千円)	26,838	124,400	97,562
り 災 世 帯 (世帯)	31	44	13
り 災 人 員 (人)	57	99	42
死 者 (人)	2	4	2
負 傷 者 (人)	6	12	6

◎ 過去10年間の出火率の変化

（各年中）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出火率	3.5	2.9	4.0	3.1	2.2	2.6	3.4	2.9	2.8	4.0

出火率とは、人口1万人当たりの1年間の出火度をいいます。

令和4年中における出火率は、4.0件/万人（全国2.9件/万人、広島県3.1件/万人）となっています。

◎ 建物火災損害額の推移

(各年中)

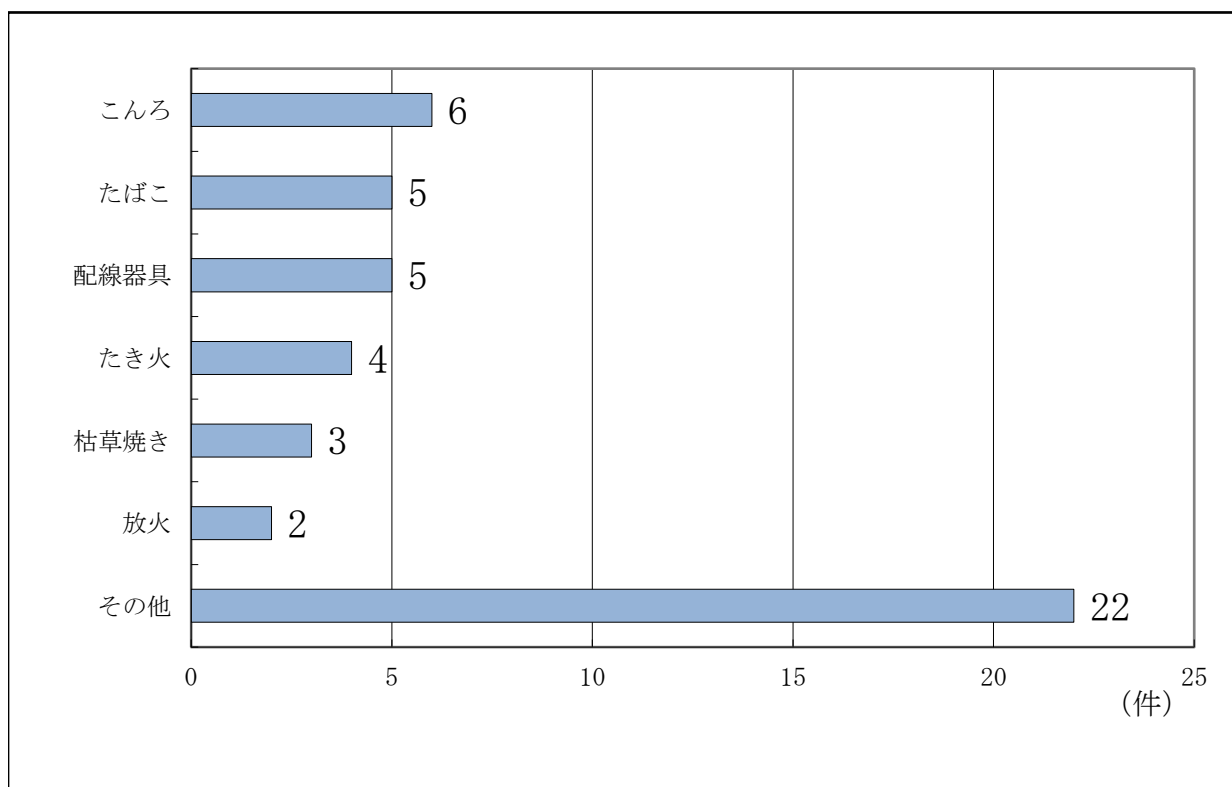
	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
建物損害額 (千円)	42,966	61,745	71,649	330,103	105,967	478,520	466,270	50,543	26,838	124,400
指 数	100	144	167	768	247	1,114	1,085	118	62	290
建物火災1件 当たりの 損害額(千円)	1,102	1,669	1,493	7,642	2,175	8,198	10,597	1,630	789	2,647
指 数	100	151	135	693	197	744	962	148	72	240

※ 指数は平成25年を「100」としています。

※ 損害額は収容物を含むものとしています。

◎ 建物火災の主な原因別火災状況

(令和4年中)



◎ 火災種別件数

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合 計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和 4 年	47(20)	1	2	1	-	34	85
令和 3 年	34(22)	1	5	-	-	20	60
増減	13(△2)	-	△3	1	-	14	25

※ ()内は、一般住宅、共同住宅、併用住宅を含む住宅の火災件数です。

※ 全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合

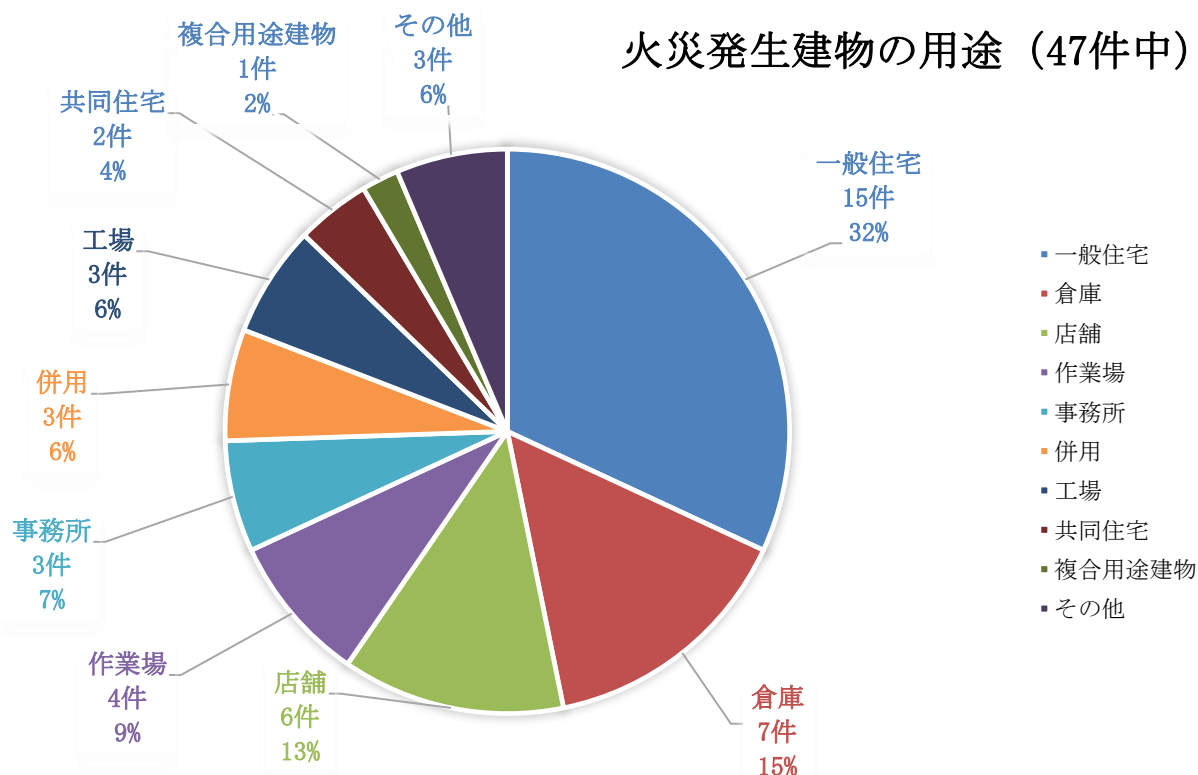
令和 4 年	55.3%
令和 3 年	56.6%

※ 建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合

令和 4 年	42.6%
令和 3 年	64.7%

● 令和 4 年中の全火災件数は85件で、前年と比較して25件増加しました。
前年に比べると、全火災件数のうち、建物火災件数の占める割合は1.3ポイント減少し、55.3%(全国55.5%)となっており、また、建物火災件数のうち、住宅等における火災件数の占める割合は22.1ポイント減少し、42.6%(全国54.6%)となっています。

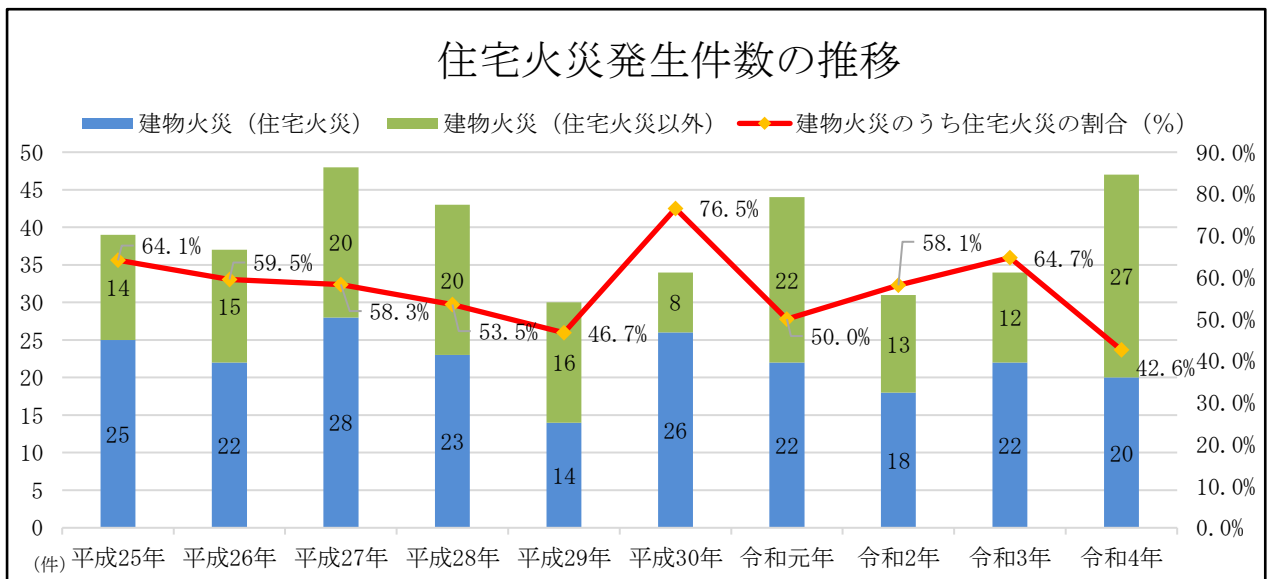
● 非火災事案は、18件発生しています。
非火災事案のうち、住宅等で発生した事案が4件です。
令和 4 年中に呉市では住宅用火災警報器の鳴動により、火災に至らなかった事案はありませんが、全国的に住宅用火災警報器が設置されている場合は設置されていない場合に比べ、大幅に被害を軽減しており、高い効果があります。



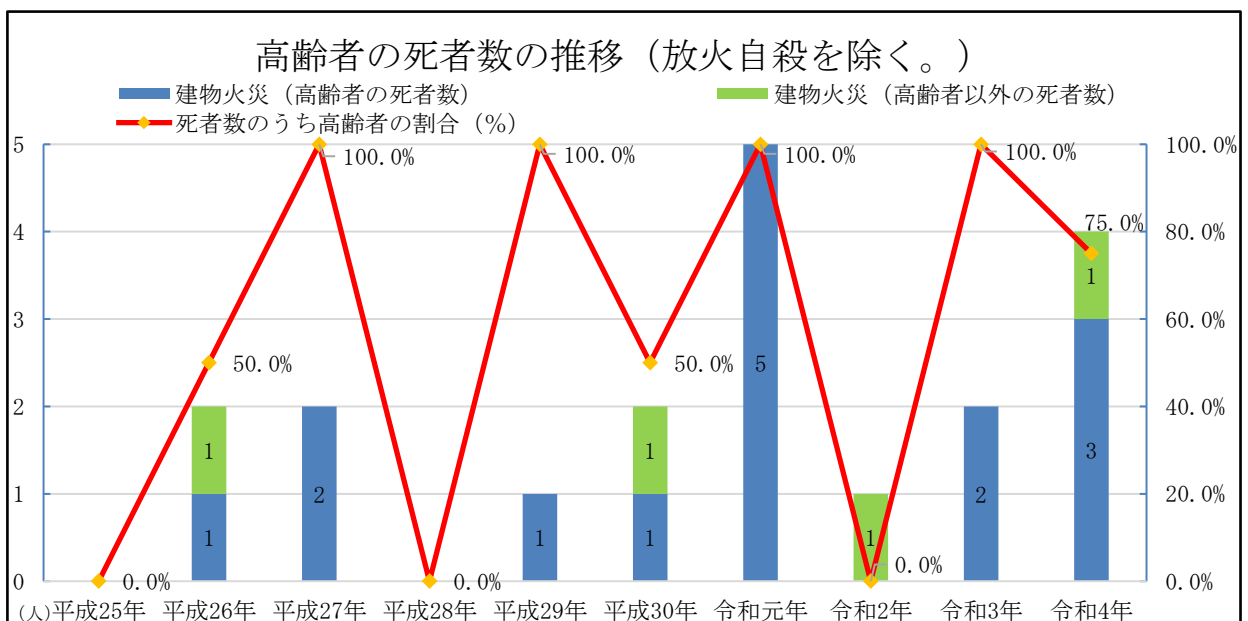
◎ 火災による死傷者

(各年中)

区 分	火 災 種 別						合計
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和4年死者数(人)	4	-	-	-	-	-	4
令和3年死者数(人)	2	-	-	-	-	-	2
増減	2	-	-	-	-	-	2
令和4年負傷者数(人)	12	-	-	-	-	-	12
令和3年負傷者数(人)	6	-	-	-	-	-	6
増減	6	-	-	-	-	-	6



※ 住宅火災とは、住宅、共同住宅及び併用住宅の件数を示しています。



◎ 署所別火災発生状況（件数及び損害額）

（令和4年中）

署別	火災種別	建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		合計	
		件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
西 消 防 署	本 署	7	11,916	-	-	-	-	-	-	-	-	7	11,916
	昭 和 分 署	3	9,010	-	-	-	-	-	-	3	-	6	9,010
	音 戸 分 署	7	146	-	-	1	88	-	-	1	-	9	234
	狩留賀出張所	4	7,176	-	-	-	-	-	-	1	-	5	7,176
	南 出 張 所	3	11,502	-	-	-	-	-	-	6	76	9	11,578
	倉橋出張所	3	12,524	1	-	-	-	-	-	1	-	5	12,524
	小 計	27	52,274	1	-	1	88	-	-	12	76	41	52,438
東 消 防 署	本 署	11	37,250	-	-	1	-	-	-	5	-	17	37,250
	阿賀北出張所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仁方出張所	2	17,069	-	-	-	-	-	-	1	-	3	17,069
	郷原出張所	2	12	-	-	-	-	-	-	4	44	6	56
	川尻出張所	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	4	1
	蒲刈出張所	3	3,452	-	-	-	-	-	-	5	-	8	3,452
	安浦出張所	1	14,013	-	-	-	-	1	65	2	-	4	14,078
	大崎下島出張所	1	357	-	-	-	-	-	-	1	-	2	357
	小 計	20	72,153	-	-	1	-	1	65	22	45	44	72,263
合 計	47	124,427	1	-	2	88	1	65	34	121	85	124,701	

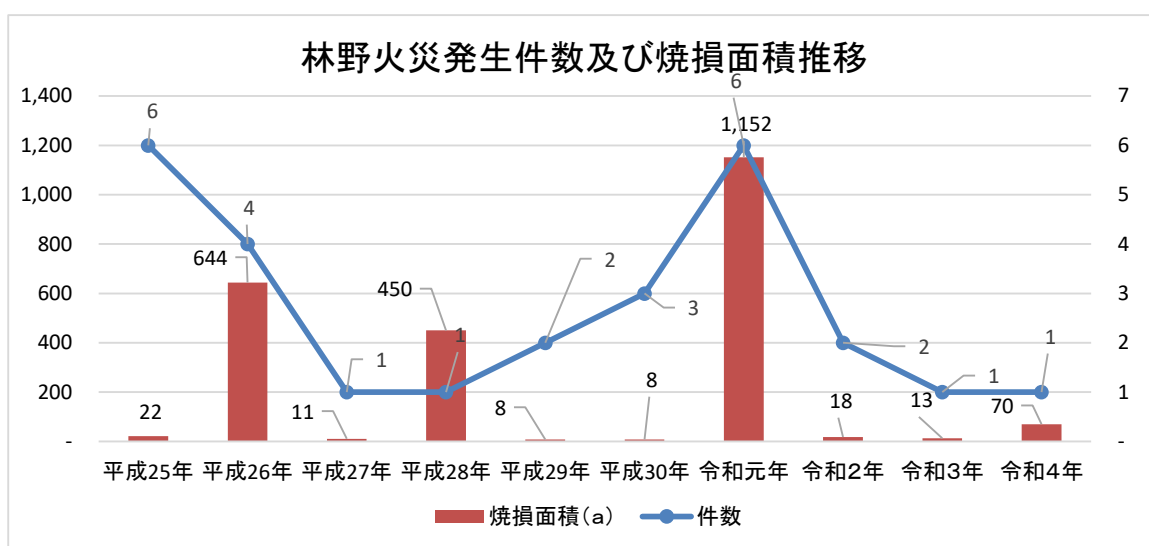
※ 損害額の単位は、「千円」としてあります。

◎ 林野火災発生状況

令和4年中に発生した林野火災は1件で、前年と比較して増減はありませんでした。焼損面積は70アールと、前年より57アール増加となっています。出火原因は、「たき火」となっています。

(各年中)

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	6	4	1	1	2	3	6	2	1	1
焼損面積 (a)	22	644	11	450	8	8	1,152	18	13	70



救 急

令和4年中の救急出動件数は11,544件で、搬送人員は9,794人となっています。これは、1日当たりの平均出動件数が31.6件で、管内の住民約21人に1人が搬送されたこととなります。

事故種別ごとに見ると、出動件数が最も多いのが、急病の7,494件で全出動件数の約64.9%を占めています。

また、年齢別に見ると、65歳以上の高齢者の搬送人数が7,232人と、高齢者の方が最も多く、全搬送人員の約73.8%を占めています。

◎ 救急活動状況と前年比較

(各年中)

	令和3年	令和4年	増減
出動件数 (件)	10,339	11,544	1,205
搬送人員 (人)	9,138	9,794	656

(各年中)

		令和3年		令和4年		増 減		増 減 率(%)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
		10,339	9,138	11,544	9,794	1,205	656	11.7%	7.2%
事 故 種 別	火 災	29	5	38	8	9	3	31.0%	60.0%
	自然災害	-	-	1	1	1	1	100.0%	100.0%
	水 難	10	2	12	6	2	4	20.0%	300.0%
	交 通	635	560	607	502	△ 28	△ 58	△4.4%	△10.4%
	労働災害	79	78	77	73	△ 2	△ 5	△2.5%	△6.4%
	運動競技	42	40	39	37	△ 3	△ 3	△7.1%	△7.5%
	一般負傷	1,692	1,536	1,830	1,593	138	57	8.2%	3.7%
	加 害	22	18	29	18	7	0	31.8%	0.0%
	自損行為	61	38	80	43	19	5	31.1%	13.2%
	急 病	6,475	5,756	7,494	6,380	1,019	624	15.7%	10.8%
	そ の 他	1,294	1,105	1,337	1,133	43	28	3.3%	2.5%
不 搬 送	1,227		1,774		547		44.6%		

◎ 救急隊別出動状況

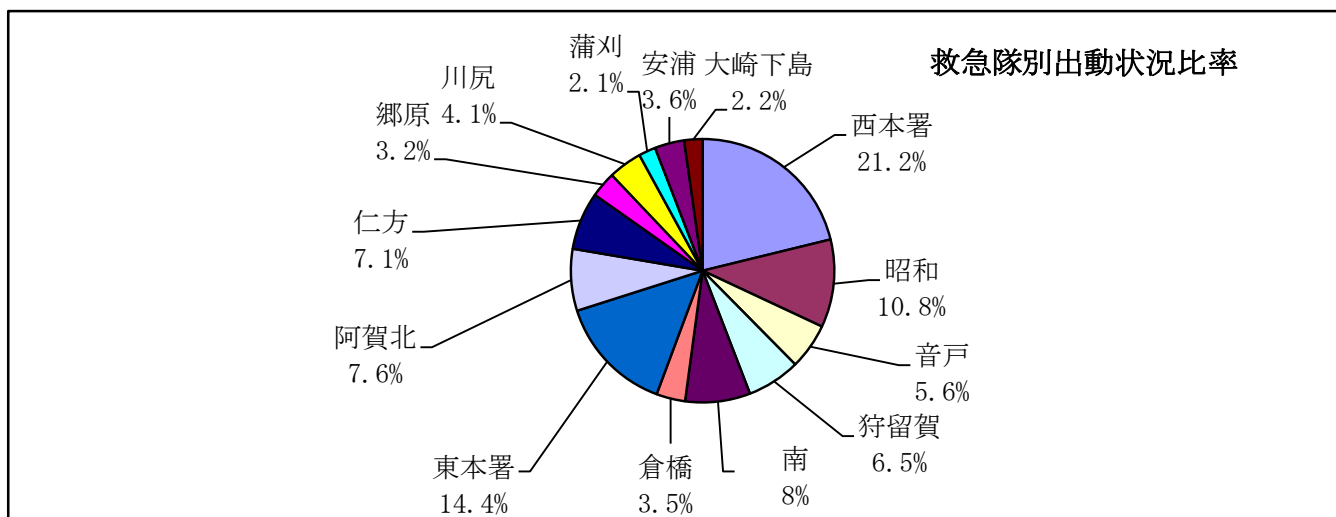
(種別)

(令和4年中)

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	その他	計(件)
西本署	6	-	2	137	15	4	378	12	22	1,486	333	2	48	2,445
昭和	1	-	-	61	4	2	177	-	2	901	77	-	20	1,245
音戸	3	-	2	26	8	-	103	1	6	468	28	-	5	650
狩留賀	-	-	1	37	3	-	114	3	5	538	40	-	15	756
南	8	-	-	51	8	4	145	2	5	576	114	-	9	922
倉橋	1	-	3	19	2	1	75	-	1	217	84	-	6	409
東本署	9	-	2	95	17	11	265	5	18	1,033	167	-	42	1,664
阿賀北	2	-	-	44	3	4	146	3	3	587	74	-	10	876
仁方	5	1	-	43	8	3	149	1	7	542	55	-	5	819
郷原	1	-	-	27	7	4	46	-	3	244	29	-	3	364
川尻	1	-	-	20	2	3	67	-	-	341	31	-	11	476
蒲刈	-	-	1	9	-	1	39	-	4	133	49	-	4	240
安浦	1	-	1	28	-	2	77	2	4	265	18	-	21	419
大崎下島	-	-	-	10	-	-	49	-	-	163	35	-	2	259
合計	38	1	12	607	77	39	1,830	29	80	7,494	1,134	2	201	11,544

(月別)

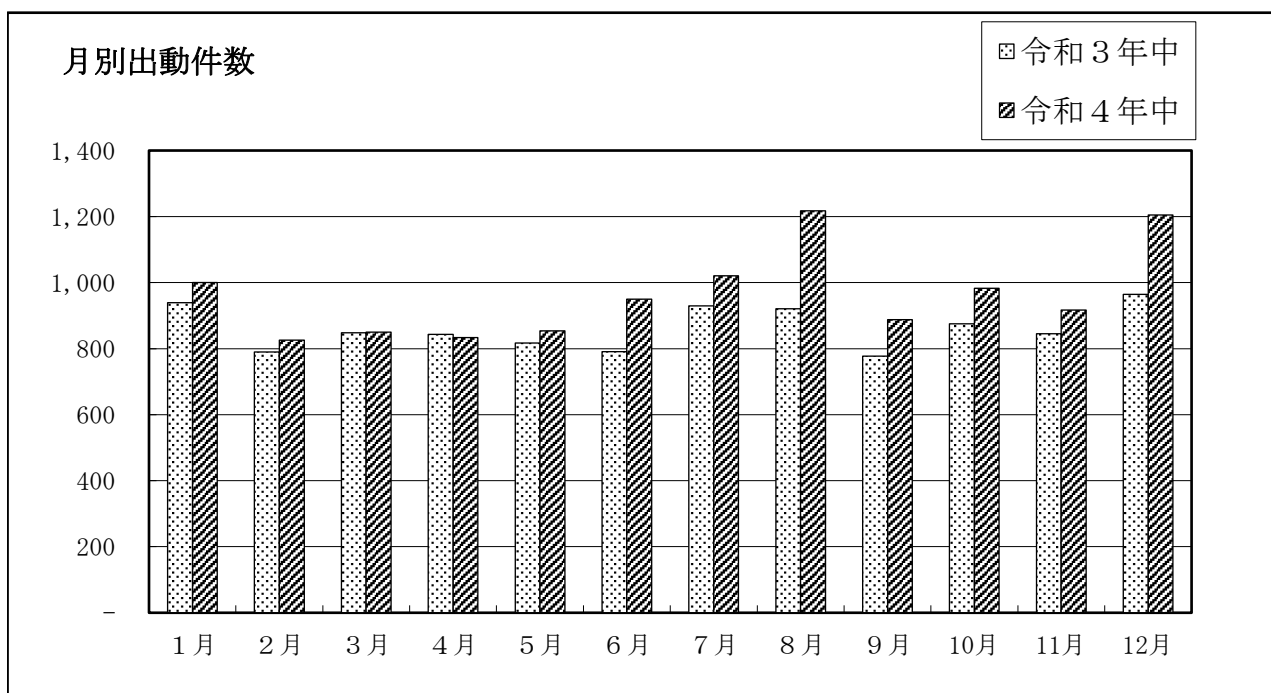
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(件)
西本署	211	174	198	189	185	207	205	230	203	215	198	230	2,445
昭和	111	87	92	89	104	104	114	127	103	91	101	122	1,245
音戸	70	53	47	41	50	43	65	48	43	61	57	72	650
狩留賀	73	57	43	44	57	58	79	93	55	57	58	82	756
南	81	55	59	73	58	67	70	128	71	72	76	112	922
倉橋	36	39	27	23	29	35	33	40	33	48	33	33	409
東本署	132	118	111	130	121	151	152	181	125	129	136	178	1,664
阿賀北	62	64	69	66	56	66	76	98	71	77	72	99	876
仁方	72	66	60	54	59	69	84	96	53	68	57	81	819
郷原	40	26	36	24	25	27	23	35	33	31	24	40	364
川尻	37	18	46	39	37	36	38	51	48	39	34	53	476
蒲刈	24	15	21	17	26	27	17	22	12	14	16	29	240
安浦	32	28	27	25	26	33	37	43	25	56	37	50	419
大崎下島	19	26	14	19	21	27	28	25	13	25	18	24	259
合計	1,000	826	850	833	854	950	1,021	1,217	888	983	917	1,205	11,544



◎ 月別救急出動状況

(令和4年中)

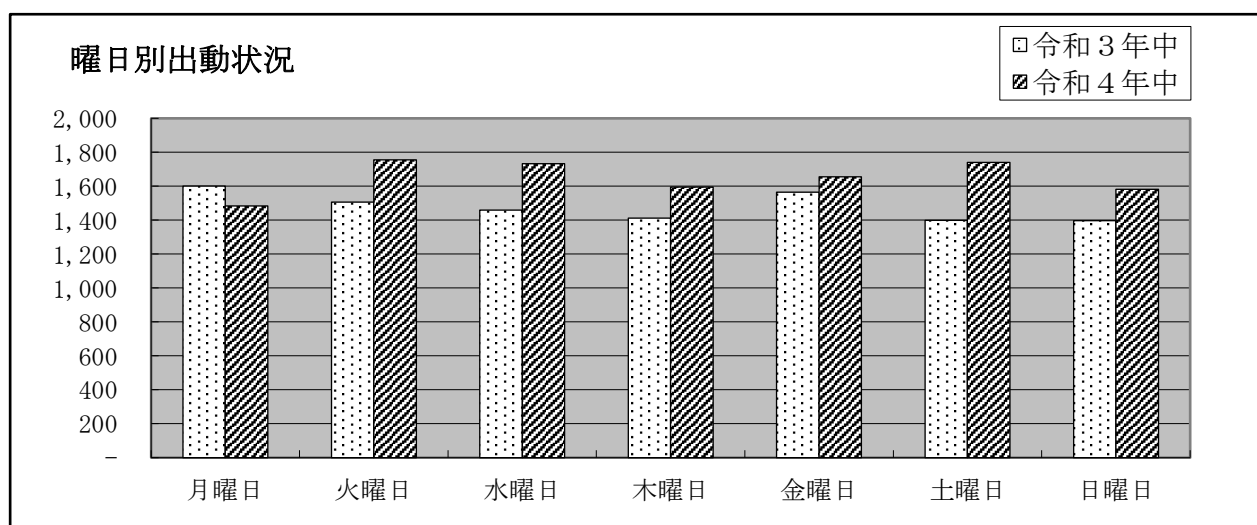
区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 (件)
火 災	6	3	8	1	4	5	3	2		2	2	2	38
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
水 難	-	-	-	2	2	1	2	1	1	2	1	-	12
交 通	34	49	41	42	39	61	53	52	49	57	68	62	607
労働災害	6	2	7	2	4	7	8	11	7	7	7	9	77
運動競技	1	-	2	4	7	3	5	3	5	3	2	4	39
一般負傷	154	127	122	134	147	135	136	174	135	181	173	212	1,830
加 害	1	-	4	2	3	-	2	1	9	1	3	3	29
自損行為	9	4	8	4	9	7	5	5	4	12	9	4	80
急 病	674	557	541	517	541	600	707	842	586	602	538	789	7,494
転院搬送	103	74	101	102	81	111	80	110	75	100	98	99	1,134
医師搬送	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
資材搬送	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	12	10	15	23	17	20	20	16	16	15	16	21	201
合 計	1,000	826	850	833	854	950	1,021	1,217	888	983	917	1,205	11,544



◎ 曜日別救急出動状況

(令和4年中)

区 分	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	計 (件)
火 災	5	8	6	5	4	3	7	38
自然災害	-	-	-	-	-	-	1	1
水 難	2	1	2	1	1	2	3	12
交 通	95	91	90	79	90	86	76	607
労働災害	12	7	16	16	14	9	3	77
運動競技	2	2	3	5	4	9	14	39
一般負傷	289	257	256	260	273	263	232	1,830
加 害	3	7	1	2	1	10	5	29
自損行為	8	12	14	11	9	10	16	80
急 病	1,114	1,097	1,005	1,082	1,092	1,051	1,053	7,494
転院搬送	194	219	175	168	221	114	43	1,134
医師搬送	-	-	1	-	1	-	-	2
資材搬送	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	32	31	26	27	30	24	31	201
合 計	1,756	1,732	1,595	1,656	1,740	1,581	1,484	11,544

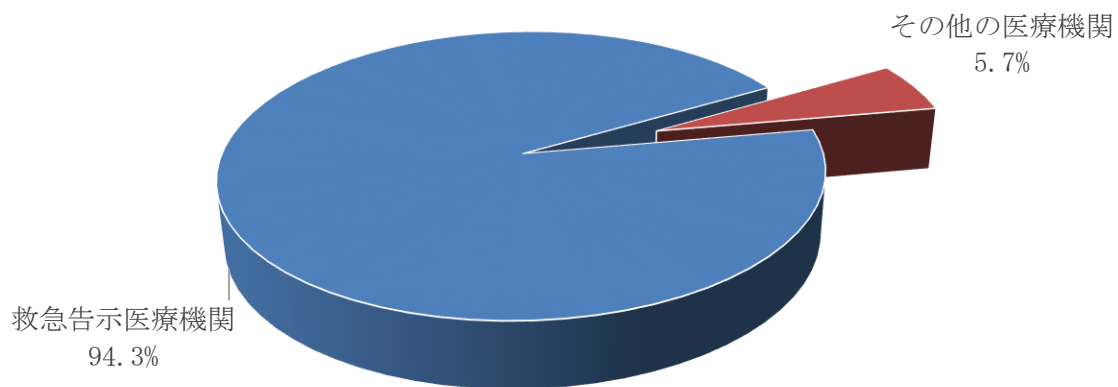


◎ 事故種別・医療機関別搬送状況

(令和4年中)

告示別	事故種別 医療機関別	急病		交通		一般負傷		左記以外の事故		計(件)	
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外
救急 告示 医療 機関	国立	3,928	39	279	1	876	8	819	41	5,902	89
	公立	89	51	8	6	29	14	55	52	181	123
	公的	317	29	6	3	46	2	35	16	404	50
	私的病院	1,687	15	126	1	453	3	364	28	2,630	47
	私的診療所	17	2	28	1	69	-	9	-	123	3
	計	6,038	136	447	12	1,473	27	1,282	137	9,240	312
その 他の 医療 機関	国立	18	12	13	4	6	4	3	2	40	22
	公立	14	3	-	-	5	4	-	-	19	7
	公的	2	-	-	-	2	-	-	-	4	-
	私的病院	182	17	15	1	39	4	25	11	261	33
	私的診療所	126	3	27	-	68	-	9	-	230	3
	計	342	35	55	5	120	12	37	13	554	65
計	国立	3,946	51	292	5	882	12	822	43	5,942	111
	公立	103	54	8	6	34	18	55	52	200	130
	公的	319	29	6	3	48	2	35	16	408	50
	私的病院	1,869	32	141	2	492	7	389	39	2,891	80
	私的診療所	143	5	55	1	137	-	18	-	353	6
	計	6,380	171	502	17	1,593	39	1,319	150	9,794	377
その 他の 場所	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		6,380	171	502	17	1,593	39	1,319	150	9,794	377

医療機関別搬送状況比率



◎ 管内管外別搬送人員状況

(令和4年中)

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計(件)
管内に住所を有する者	8	1	4	427	52	21	1,517	17	37	6,128	1,026	9,238
管外に住所を有する者	-	-	2	75	21	16	76	1	6	248	107	552
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4
合計	8	1	6	502	73	37	1,593	18	43	6,380	1,133	9,794

「管内に住所を有する者」とは、管内に住所を有している者をいいます。

「管外に住所を有する者」とは、管内以外の国内に住所を有している者をいいます。

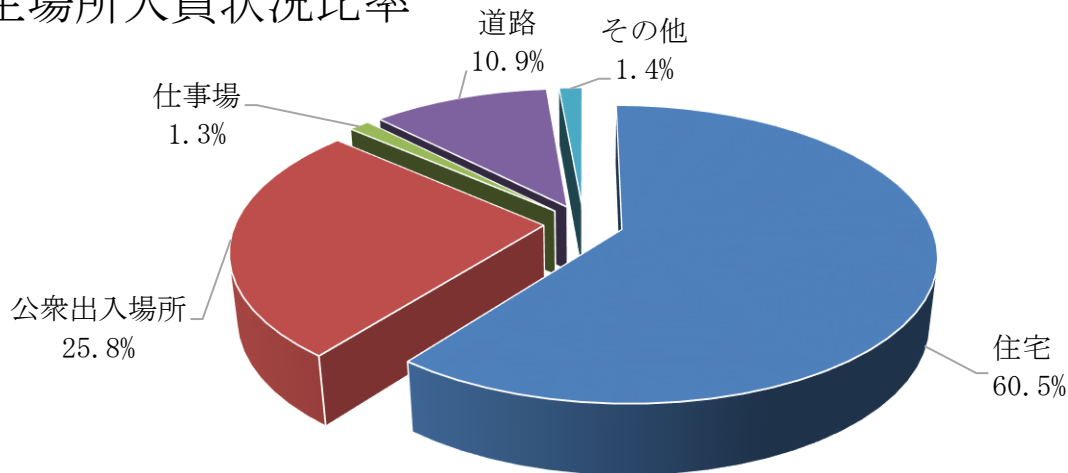
「その他」とは、外国人旅行者（外国人での日本に住所を有している者を除いた外国人）、住所が判明しない者等をいいます。

◎ 発生場所別状況

(令和4年中)

区分	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	計(件)
急病	4,927	1,105	62	253	33	6,380
交通	8	19	1	462	12	502
一般負傷	938	233	7	339	76	1,593
上記以外	55	1,174	56	16	18	1,319
合計	5,928	2,531	126	1,070	139	9,794

発生場所人員状況比率



◎ 現場到着所要時間状況（事故種別出動状況）

（令和4年中）

事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計（件）
急病	44	503	4,965	1,884	98	7,494
交通	2	46	374	165	20	607
一般負傷	16	151	1,186	456	21	1,830
その他	10	315	921	349	18	1,613
計	72	1,015	7,446	2,854	157	11,544

◎ 収容所要時間状況（事故種別搬送人員数）

（令和4年中）

事故種別	覚知時間から医療機関へ収容する時間						計（件）
	10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30～60分未満	60～120分未満	120分以上	
急病	-	46	807	4,435	1,063	29	6,380
交通	-	3	67	310	118	4	502
一般負傷	-	12	157	1,120	286	18	1,593
その他	-	72	454	677	110	6	1,319
計	-	133	1,485	6,542	1,577	57	9,794

◎ 年齢別搬送状況

（令和4年中）

区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計（件）
火災	-	-	-	3	5	8
自然災害	-	-	-	1	-	1
水難	-	-	1	3	2	6
交通	-	8	43	277	174	502
労働災害	-	-	-	55	18	73
運動競技	-	1	20	13	3	37
一般負傷	-	41	40	177	1,335	1,593
加害	-	-	1	11	6	18
自損行為	-	-	1	30	12	43
急病	-	170	130	1,296	4,784	6,380
その他	6	12	11	211	893	1,133
計	6	232	247	2,077	7,232	9,794

◎ 救急隊員による応急処置実施状況

(令和4年中)

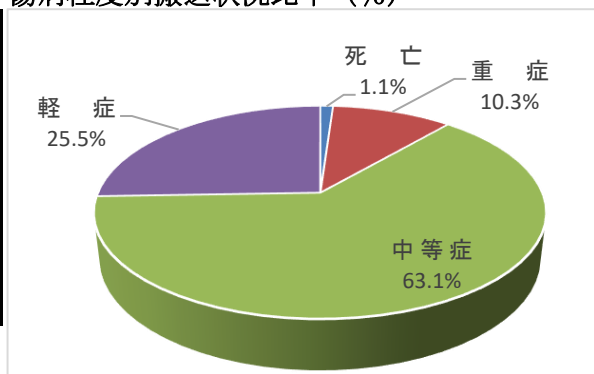
応急処置	事故種別				左記以外の事故	計(件)
	急病	交通	一般負傷			
対象人員	6,380	502	1,593		1,319	9,794
止血	1	1	8		1	11
固定	11	210	155		35	411
人工呼吸	52	-	2		10	64
心臓マッサージ	58	1	2		6	67
心肺蘇生	234	3	17		17	271
酸素吸入	1,670	48	95		387	2,200
気道確保	396	5	29		40	470
※(器具を用いた気道確保)	(90)	0	(4)		(9)	(103)
保温	32	1	6		7	46
被覆	34	146	457		48	685
在宅治療継続	62	-	5		2	69
ショックパンツ	-	-	-		-	-
その他の応急処置	7,276	572	1,724		1,393	10,965
血圧測定	6,837	564	1,693		1,329	10,423
聴診器での聴取	4,282	347	652		633	5,914
血中酸素濃度測定	6,960	573	1,710		1,359	10,602
心電図	4,212	109	396		566	5,283
※血糖値測定	43	-	1		-	44
※除細動	15	-	-		-	15
※輸液	199	9	14		15	237
※薬剤投与	46	1	3		3	53
合計	32,420	2,590	6,969		5,851	47,830

※印にあっては、救急救命士が行った救急救命処置、()は内数

◎ 傷病程度別搬送状況

(令和4年中) 傷病程度別搬送状況比率(%)

傷病程度	搬送人員	比率(%)
死亡	106	1.1
重症	1,006	10.3
中等症	6,181	63.1
軽症	2,501	25.5
合計	9,794	100



◎ 過去5年間の救急活動状況

(各年中)

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出 動 件 数	11,411	10,835	9,865	10,339	11,544
搬 送 人 員	10,109	9,690	8,713	9,138	9,794
不 搬 送	1,302	1,181	1,188	1,227	1,774
1隊当たりの出動件数	815	773	705	739	825
1隊当たりの搬送人員	722	692	622	653	700
1日当たりの出動件数	31	30	27	28	32

◎ 普及啓発活動実施結果

(令和4年中)

対象者	実施月	応急救護講習		救命入門コース		普通救命講習		普及・指導員講習		小計	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
地域住民	1～3月	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2
	4～6月	2	26	0	0	0	0	0	0	2	26
	7～9月	3	86	0	0	0	0	0	0	3	86
	10～12月	5	370	0	0	3	63	0	0	8	433
事業所の従業員	1～3月	2	35	0	0	1	7	0	0	3	42
	4～6月	9	209	0	0	2	21	0	0	11	230
	7～9月	7	230	0	0	2	41	0	0	9	271
	10～12月	10	165	0	0	4	27	0	0	14	192
学校関係者 (教職員・児童生徒を含む)	1～3月	3	79	1	58	1	26	0	0	5	163
	4～6月	36	992	2	150	2	61	0	0	40	1,203
	7～9月	8	277	3	171	1	18	0	0	12	466
	10～12月	4	144	2	144	0	0	0	0	6	288
その他	1～3月	1	11	0	0	3	9	0	0	4	20
	4～6月	3	28	0	0	7	66	0	0	10	94
	7～9月	5	64	0	0	7	91	0	0	12	155
	10～12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	100	2,718	8	523	33	430	0	0	141	3,671	

※応急救護講習は、講習時間3時間未満の講習で修了証を発行しない講習をいう。

※救命入門コースは、講習時間45分又は90分の講習で参加証を発行する講習をいう。

※普通救命講習は、講習時間3時間又は4時間の講習で修了証を発行する講習をいう。

◎ 普及啓発活動実施状況 (平成30年～令和4年中)

年	応急救護講習		普通救命講習		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成30年	177	7,066	79	2,576	256	9,642
令和元年	225	8,804	69	2,347	294	11,151
令和2年	87	2,224	63	1,801	150	4,025
令和3年	65	1,537	36	1,139	101	2,676
令和4年	100	2,718	41	953	141	3,671

※救命入門コース及び上級救命講習は普通救命講習に含む。

救急隊支援

呉市消防局では、平成10年から救急隊支援を実施しています。これは、呉市の地形を考慮し、高地部や急傾斜地で発生した傷病者を安全かつ迅速に搬送するほか、狭い階段や通路、その他交通量の多い道路における交通事故の現場などで、消防隊が出動して救急隊の処置や搬送を支援するものです。

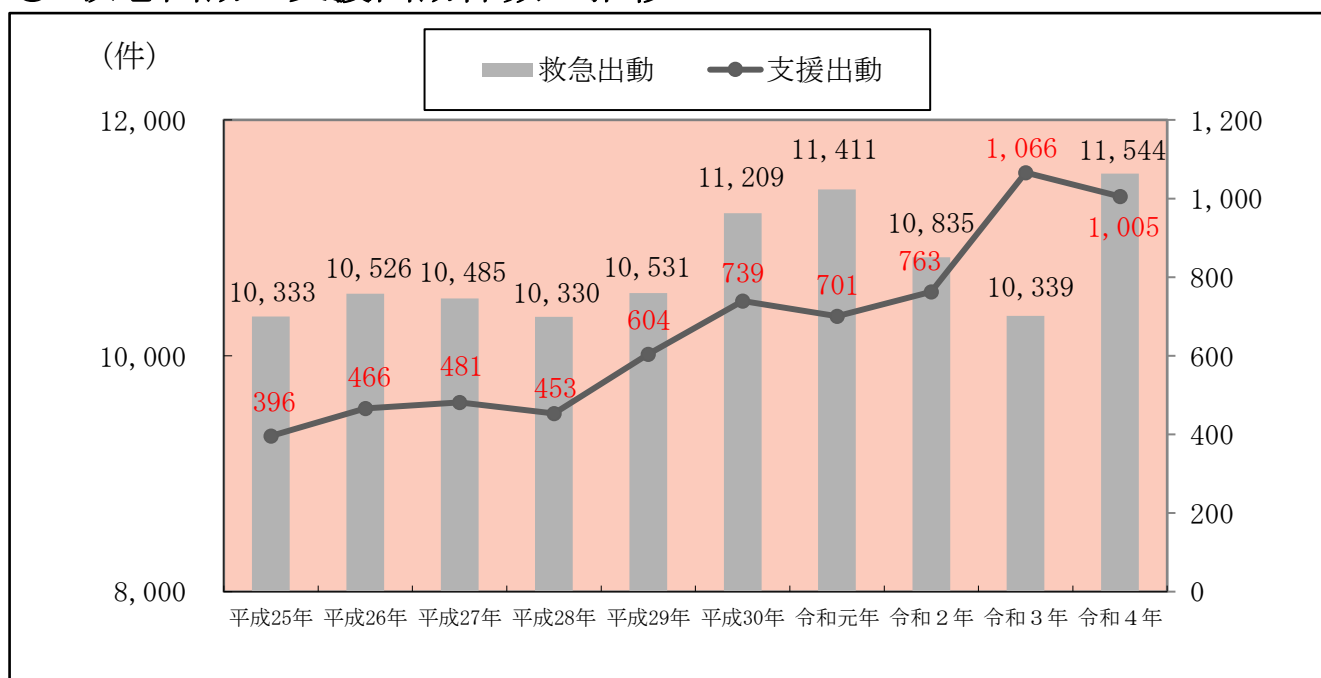
また、119番通報時に心肺停止の患者であることが疑われ、救急隊の到着が遅延すると思われる場合などにも直近の消防隊が出動し、救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫等の救命処置を行っています。

◎ 救急隊支援出動状況

(各年中)

	高地部	人的支援	安全管理	救急救命	その他	合計	救急出動件数	出動割合
平成30年	68	145	64	24	438	739	11,209 件	6.6%
令和元年	78	127	34	20	442	701	11,411 件	6.1%
令和2年	68	106	86	18	485	763	10,835 件	7.0%
令和3年	154	121	144	33	614	1,066	10,339 件	10.3%
令和4年	115	105	114	37	634	1,005	11,544 件	8.7%

◎ 救急出動・支援出動件数の推移



救 助

呉市消防局の救助体制は、局（警防課）に高度救助隊，東消防署・音戸分署に救助隊を各1隊配置し、潜水士や酸素欠乏作業主任者等の資格を有する救助隊員42名をもって編成しています。

装備については、化学災害や放射線災害など様々な災害に対応するため、化学防護服及び放射線防護服などの保護服や、倒壊建物内の生存者を発見するための画像探索機及び熱画像直視装置などの高度な救助資器材を積載した救助工作車を2台、油圧救助資器材等を積載した消防自動車1台、計3台を配備しています。

令和4年中の救助出動件数（救急隊支援，ヘリコプター支援及び救急救命を除く。）は、58件で47名を事故現場から救助しています。

事故種別は、「交通事故」が26件で第1位、「水難事故」が13件で第2位となっています。

◎ 過去5年間の救助出動件数及び活動状況

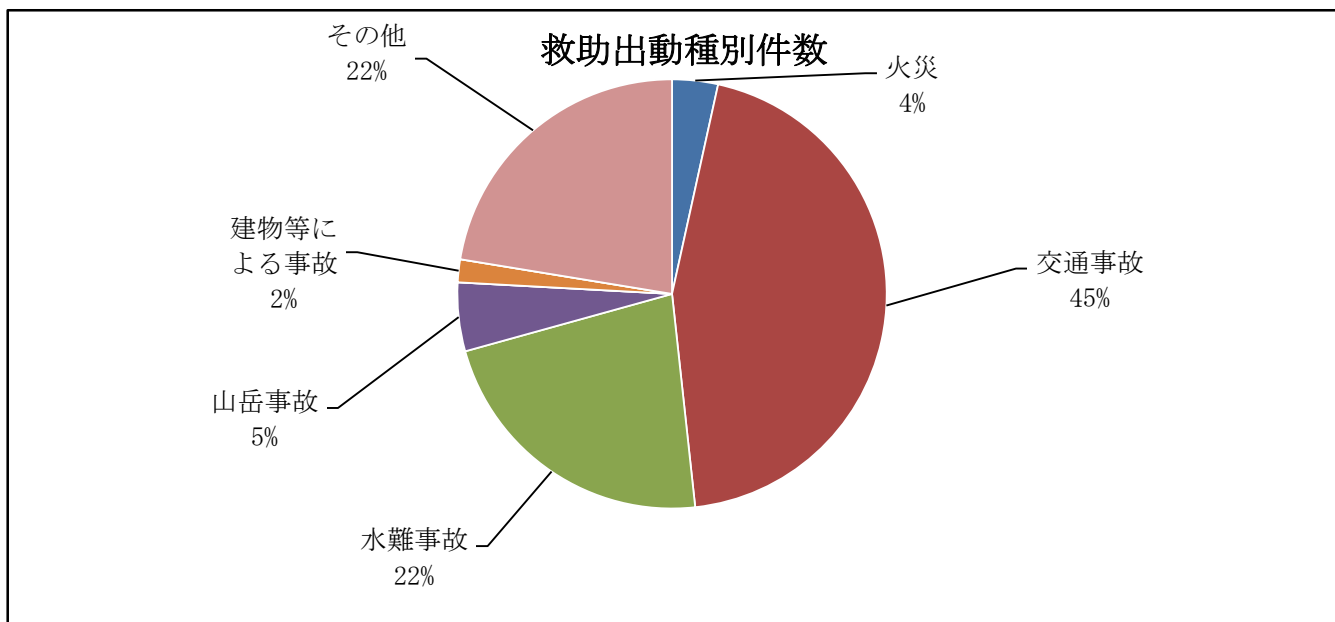
(各年中)

種 別	区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総 計	出 動 件 数	115	52	56	54	58
	活 動 件 数	87	34	36	34	41
	救 助 人 員	345	34	31	37	47
火 災	出 動 件 数	-	1	-	1	2
	活 動 件 数	-	1	-	1	2
	救 助 人 員	-	1	-	1	2
交 通 事 故	出 動 件 数	22	24	23	26	26
	活 動 件 数	6	11	11	16	17
	救 助 人 員	9	11	12	19	22
水 難 事 故	出 動 件 数	15	13	11	10	13
	活 動 件 数	9	11	7	6	7
	救 助 人 員	9	11	5	6	8
山 岳 事 故	出 動 件 数	-	-	1	1	3
	活 動 件 数	-	-	1	1	3
	救 助 人 員	-	-	1	1	3
風 水 害 等 害 自 然 災 害	出 動 件 数	58	-	-	-	-
	活 動 件 数	58	-	-	-	-
	救 助 人 員	313	-	-	-	-
機 械 に よ る 事 故	出 動 件 数	1	2	3	1	-
	活 動 件 数	-	2	2	1	-
	救 助 人 員	-	2	2	1	-
建 物 等 に よ る 事 故	出 動 件 数	3	4	-	2	1
	活 動 件 数	2	2	-	1	1
	救 助 人 員	2	2	-	1	1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出 動 件 数	-	-	2	1	-
	活 動 件 数	-	-	2	-	-
	救 助 人 員	-	-	3	-	-
破 裂 事 故	出 動 件 数	-	-	-	-	-
	活 動 件 数	-	-	-	-	-
	救 助 人 員	-	-	-	-	-
そ の 他 の 事 故	出 動 件 数	16	8	16	12	13
	活 動 件 数	12	7	13	8	11
	救 助 人 員	12	7	8	8	11

◎ 救助出動状況

(令和4年中)

種別	火災	交通事故	水難事故	山岳事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計
件数	2	26	13	3	-	-	1	-	-	13	58



◎ その他の災害出動状況（過去5年間）

(各年中)

出 動		種 別		警 戒	非 火 災	ヘリコプター支援	そ の 他	合 計
		誤 報	虚 報					
平成 30 年	出 動 回 数	24	1	109	19	50	56	259
	出 動 台 数	130	8	132	80	55	112	517
	出 動 人 員	392	23	427	248	177	367	1,634
令和 元 年	出 動 回 数	13		88	15	42	10	168
	出 動 台 数	72		94	47	43	31	287
	出 動 人 員	232		301	140	145	97	915
令和 2 年	出 動 回 数	25	3	68	17	63	17	193
	出 動 台 数	138	16	79	81	65	47	426
	出 動 人 員	429	47	249	243	209	151	1,328
令和 3 年	出 動 回 数	53	1	52	15	61	26	208
	出 動 台 数	323	8	69	51	62	105	618
	出 動 人 員	951	23	212	139	200	335	1,860
令和 4 年	出 動 回 数	50	2	61	18	58	23	212
	出 動 台 数	247	17	66	86	61	80	557
	出 動 人 員	738	50	212	236	196	254	1,686

消 防 水 利

令和5年3月31日現在

種 別 管 内 別	合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ル	河 川	溝	濠	池	海	井 戸	そ の 他
		公 設	私 設	公 設		私 設									
				40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満	40 ト ン 以 上	40 ト ン 未 満								
合 計	6,658	5,242	398	421	61	172	49	50	10	-	-	3	46	-	206
西 消 防 署 管 内	小 計	3,477	2,823	266	151	24	108	26	30	7	-	-	3	38	1
	本 署	1,047	899	49	35	3	39	7	10	-	-	-	2	2	1
	昭 和 分 署	672	570	5	67	1	16	1	5	7	-	-	-	-	-
	音 戸 分 署	404	379	-	8	6	1	-	5	-	-	-	-	5	-
	狩 留 賀 出 張 所	540	377	107	15	2	24	5	5	-	-	-	-	5	-
	南 出 張 所	472	296	105	10	3	28	13	4	-	-	-	1	12	-
	倉 橋 出 張 所	342	302	-	16	9	-	-	1	-	-	-	-	14	-
東 消 防 署 管 内	小 計	3,181	2,419	132	270	37	64	23	20	3	-	-	-	8	205
	本 署	921	734	83	36	5	35	17	6	1	-	-	-	2	2
	阿 賀 北 出 張 所	363	326	8	11	1	7	2	6	-	-	-	-	1	1
	仁 方 出 張 所	181	170	-	5	-	3	-	1	1	-	-	-	1	-
	郷 原 出 張 所	168	136	6	16	-	8	-	1	1	-	-	-	-	-
	川 尻 出 張 所	285	214	11	46	1	5	-	2	-	-	-	-	4	2
	安 浦 出 張 所	438	352	24	24	25	6	4	3	-	-	-	-	-	-
	蒲 刈 出 張 所	270	219	-	43	1	-	-	1	-	-	-	-	-	6
	大 崎 下 島 出 張 所	555	268	-	89	4	-	-	-	-	-	-	-	-	194

消 防 機 械

消防力の諸要素のうちで、消防機械と装備は重要な位置付けがされており、都市消防においては各種の災害に適応する消防機械の充実強化が期されているところです。

当局においても、災害の複雑多様化に対処するため、消防機械の充実に努め、科学消防力の強化を図っています。

◎ 主な消防車両等

令和5年3月31日現在

車両種別	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防ポンプ自動車 II型	はしご付消防自動車 30m	屈折はしご付消防自動車 35m	小型動力ポンプ付積載車	救急自動車		救助工作車		指令車	署長指揮車	指揮調査車	原因調査車	予防指導車	防災指導車	輸送車	広報車	機材搬送車	人員輸送車・多目的車	救急艇	※拠点機能形成車	
							高規格	2B型	II型	III型													
合計	74	22	3	2	1	1	5	6	10	1	1	1	2	2	1	2	1	2	1	5	3	1	1

※ 消防組織法第50条の規定に基づく国有財産等の無償使用として配備

◎ 主な機械器具

令和5年3月31日現在

可搬ウインチ	ガス溶断機	大型油圧救助器具	チェンソ	送排風機	空気呼吸器	酸素呼吸器	発電機	エンジンカッター	化学防護服	熱画像直視装置	夜間暗視装置	地中音響探知機	画像探索機 I型	画像探索機 II型	地震警報器	電磁波探査装置
5	3	4	24	5	118	11	40	12	17	7	1	1	2	1	1	1

マット式空気ジャッキ	マンホール救助器具	救命ボート	自給式潜水器具	放射線防護服	防毒衣	耐熱服	耐電衣	放射線測定器	ガス測定器	エアソ	削岩機	電動ハンマ	救命索発射銃	インパルス	除染テント	レシプロソ
3	3	5	20	4	44	11	10	59	14	2	3	2	3	2	3	3

●高機能消防指令センター

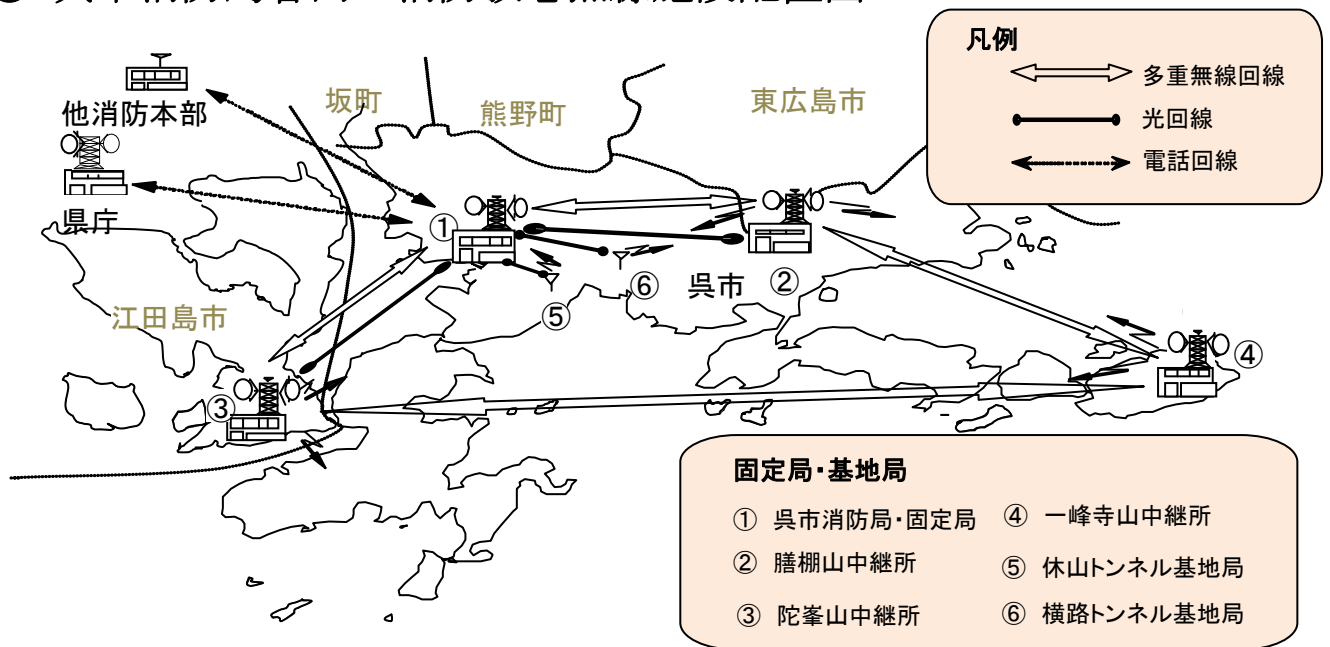
呉市消防局の高機能消防指令センターは、令和2年3月呉市消防局・西消防署新庁舎移転と同時に運用を開始しています。

この指令センターの機能として、音声による通報が困難な方や外国人の方が安心して円滑に緊急通報を行うための「ネット119緊急通報システム」, 「多言語電話通訳サービス」のほか、災害現場の映像を指令センターで確認し、迅速な情報共有が可能となる「映像通報システム」, 「画像伝送システム」を運用しています。災害の複雑化や大規模災害、救急需要の増加への対応が、これまで以上に的確に行える最新技術を搭載し、円滑な通報と迅速な対応を可能にしています。

●消防救急無線

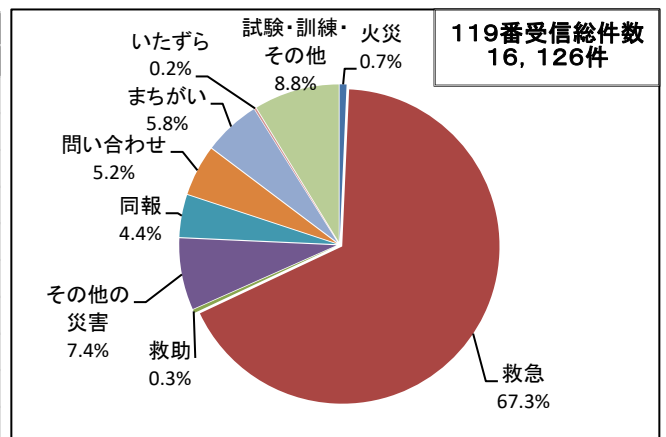
災害時の情報通信の要となる消防救急無線は、平成28年3月からデジタル方式による運用を開始しています。現在は呉市消防局から「膳棚山中継所」, 「陀峯山中継所」, 「一峰寺山中継所」の各中継所や、「休山トンネル基地局」, 「横路トンネル基地局」の各トンネル基地局を使用して、円滑な運用が実現されています。また、消防隊や救急隊に配備された携帯無線機や車載無線機についてもデジタル方式に更新することで、より精度の高い無線通信が実現し、消防救急活動体制の強化が図られています。

◎ 呉市消防局管内の消防救急無線施設配置図



◎ 災害等受信総件数（令和4年中）

通報種別 災害種別	固定電話119	IP電話119	携帯電話 119	その他の 通報※	合計
火災	27	18	59	9	113
救助	9	-	32	15	56
救急	2,709	2,408	5,144	592	10,853
その他	310	147	570	161	1,188
同報	175	67	460	-	702
まちがい	193	65	547	132	937
いたずら	10	5	10	-	25
問い合わせ	180	84	543	33	840
その他・訓練	506	315	439	152	1,412
合計	4,119	3,109	7,804	1,094	16,126



※ その他の通報：登録制通報装置，加入電話，自己覚知等による受信

※ 小数第二位を四捨五入した数値を記入

◎ 119番受信状況

(各年中)

年 別	区 分	受 信 回 数	災 害					そ の 他				
			小 計	火 災	救 急	そ の 他 (救 助 含 む)	同 報	小 計	問 い 合 わ せ	ま ち が い	い た ず ら	訓 練 そ の 他
平成 30年	固定電話等	7,101	5,222	28	4,499	547	148	1,879	357	405	12	1,105
	携帯電話	7,078	5,011	43	4,236	413	319	2,067	740	427	16	884
	I P 電話	3,079	2,476	11	2,268	120	77	603	191	73	-	339
	合計	17,258	12,709	82	11,003	1,080	544	4,549	1,288	905	28	2,328
	1日平均	47.3	34.8	0.2	30.1	3.0	1.5	12.5	3.5	2.5	0.1	6.4
令和 元年	固定電話等	6,249	4,827	28	4,158	459	182	1,422	184	356	18	864
	携帯電話	6,265	4,875	42	4,151	350	332	1,390	414	467	37	472
	I P 電話	2,824	2,347	12	2,166	104	65	477	101	75	1	300
	合計	15,338	12,049	82	10,475	913	579	3,289	699	898	56	1,636
	1日平均	42.0	33.0	0.2	28.7	2.5	1.6	9.0	1.9	2.5	0.2	4.5
令和 2年	固定電話等	5,656	4,178	27	3,446	537	168	1,478	240	559	11	668
	携帯電話	5,887	4,646	37	3,965	381	263	1,241	390	485	24	342
	I P 電話	2,519	2,124	12	1,979	78	55	395	79	63	2	251
	合計	14,062	10,948	76	9,390	996	486	3,114	709	1,107	37	1,261
	1日平均	38.5	30.0	0.2	25.7	2.7	1.3	8.5	1.9	3.0	0.1	3.5
令和 3年	固定電話等	5,125	3,962	43	3,211	555	153	1,163	179	349	12	623
	携帯電話	6,474	5,172	40	4,237	612	283	1,302	390	505	19	388
	I P 電話	2,786	2,381	5	2,195	134	47	405	75	48	1	281
	合計	14,385	11,515	88	9,643	1,301	483	2,870	644	902	32	1,292
	1日平均	39.4	31.5	0.2	26.4	3.6	1.3	7.9	1.8	2.5	0.1	3.5
令和 4年	固定電話等	5,213	4,007	36	3,301	495	175	1,206	213	325	10	658
	携帯電話	7,804	6,265	59	5,144	602	460	1,539	543	547	10	439
	I P 電話	3,109	2,640	18	2,408	147	67	469	84	65	5	315
	合計	16,126	12,912	113	10,853	1,244	702	3,214	840	937	25	1,412
	1日平均	44.2	35.4	0.3	29.7	3.4	1.9	8.8	2.3	2.6	0.1	3.9

※災害欄のその他の件数は、火災、救急以外の災害件数（救助含む。）

※固定電話等は、携帯電話及びI P 電話以外の通報区分全てを含む。（緊急通報装置、加入電話等）

※1日平均は、少数第二位を四捨五入した数値を記入。

◎ 登録制通報システム受信状況

(各年中)

年 別	項目	緊急通報装置	F A X 1 1 9	メール 1 1 9	NET 1 1 9
平成30年		104	-	-	令和2年4月1日 運用開始
令和元年		93	1	-	
令和2年		72	-	-	2
令和3年		105	1	1	2
令和4年		202(74)	1(1)	3(3)	1(0)

- 令和3年以前の数値は、出動件数のみを表しています。
- 令和4年以降の数値は、通報受信件数を表し、括弧内は出動件数を表しています。
- 訓練等で受信した件数は含まれていません。

◎ 映像通報システム利用状況

(各年中)

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
映像通報 利用回数	令和3年6月1日運用開始			58	76

- 映像通報利用回数には位置情報の取得のみに利用した回数も含まれています。
- 訓練等で利用した件数は含まれていません。

◎ 多言語電話通訳サービス利用状況

(各年中)

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
利用回数	令和2年5月1日運用開始		3	4	7

- 英語・中国語・ベトナム語・タガログ語等22言語に対応しています。
- 24時間365日対応可能です。

◎ 出動指令状況

(各年中)

年別	区分	火災	救助	警戒	その他	救急隊支援	へり支援	救急救命	救急	合計
平成30年		82	120	141	9	519	52	239	11,003	12,165
令和元年		82	51	97	3	477	45	240	10,475	11,470
令和2年		76	55	83	8	382	64	404	9,390	10,462
令和3年		88	54	79	18	503	61	586	9,643	11,032
令和4年		113	56	92	12	404	60	620	10,853	12,210

◎ 通信指令施設の現況

令和5年3月31日現在

区分 通信施設別 実装量				西消防署							東消防署								
				本署	昭和分署	音戸分署	狩留賀出張所	南出張所	倉橋出張所	本署	阿賀北出張所	仁方出張所	郷原出張所	川尻出張所	安浦出張所	蒲刈出張所	大崎下島出張所		
有線 通信 施設	消防	119番受信回線	16	20	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		衛星携帯電話受信回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		携帯119番転送回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		指令伝送回路	14	20	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		一般加入電話回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		専用電話回線	3	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		有無線接続回線	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		録音回路	48	48	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		車両運用表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		支援情報表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		多目的情報表示盤	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		関係機関連絡用 順次指令回線	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		署用車両運用表示盤	3	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-		
		統合型位置情報 通知装置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		携帯電話	38	-	8	6	2	2	2	2	2	5	1	1	1	1	2	2	1
	緊急通報装置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	言語障害聴覚障害者用ファックス	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	メール119番通報システム	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ネット119緊急通報システム	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	県防災ファックス	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	災害案内用テレホンガイド回線	20	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無線 通信 施設		固定局	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		基地局	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	陸上 移動局	車載無線機(10w)	74	-	6	12	4	6	3	3	3	16	3	2	2	3	4	3	4
		携帯無線機(10w)	4	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
		携帯無線機(5w)	100	-	33	16	4	4	3	3	3	18	2	2	2	2	3	3	2
	携帯無線機(1w)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
無線従事者		第1級陸上特殊無線技術士											26名						
		第2級陸上特殊無線技術士											62名						
		第3級陸上特殊無線技術士											3名						

消防団

消 防 団

本市の消防団は、昭和22年4月の消防団令公布と同時に団員定数1,413名で発足。昭和23年3月7日には改めて自治体消防の機関となりました。その後、幾多の組織改革を行い、昭和31年10月には天応町・昭和村・郷原村と合併、平成15年4月1日に下蒲刈町と、平成16年4月1日に川尻町と、平成17年3月20日には音戸町・倉橋町・蒲刈町・安浦町・豊浜町・豊町と合併、平成21年4月1日に分団再編が完了し、1本部、5方面隊、37分団となりました。平成31年4月1日に川尻西・東分団が統合し36分団、令和5年4月1日に蒲刈向・中央・大浦分団が統合し、現在の消防団組織となっています。

◎ 消防団の組織と人員等

1本部、5方面隊、34分団

令和5年4月1日現在

方面隊	地区隊(分団名)	基本団員 (人)	機能別団員 (人)	装備(台)	
				小型動力ポンプ 付積載車	指揮車他
	呉市消防団本部	34	—	—	4
呉	呉東(大和,本通分団)	112	4	8	—
	呉中央(中央,湾岸分団)	81	1	6	—
	呉北(昭和,天応分団)	104	—	6	—
広	広西(阿賀,大冠,広西,広北,郷原分団)	151	6	13	—
	広東(広中央,広東,広南,仁方分団)	132	—	13	—
安芸	下蒲刈(下蒲刈分団)	62	—	6	—
	蒲刈(蒲刈向,蒲刈中央,蒲刈大浦分団)	75	2	7	—
	豊浜(豊浜分団)	62	—	7	—
	豊(豊分団)	114	—	9	—
安川	川尻(川尻分団)	66	2	9	—
	安浦(安浦三津口,安浦内海,安浦野路, 安浦北,安浦安登分団)	183	1	14	—
音倉	音戸(瀬戸,音戸東,波多見,音戸南,音戸西分団)	224	5	19	—
	倉橋(倉橋西,倉橋北,倉橋東,倉橋南分団)	213	1	18	—
小計		1,613	22	135	4
合計			1,635		139

◎ 消防団員の年齢構成

令和5年4月1日現在

階級別 年齢別	計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合計	1,635 (39)	1	15	38 (1)	57 (1)	277 (3)	415 (3)	832 (31)
18～20歳	7 (1)	—	—	—	—	—	—	7 (1)
21～25歳	38 (2)	—	—	—	—	—	—	38 (2)
26～30歳	59 (5)	—	—	—	—	1	4	54 (5)
31～35歳	74 (1)	—	—	—	—	2	13	59 (1)
36～40歳	161 (5)	—	—	—	—	2	32	127 (5)
41～45歳	193 (4)	—	—	—	1 (1)	10	57 (2)	125 (1)
46～50歳	283 (8)	—	—	—	2	47	89	145 (8)
51～55歳	258 (5)	—	—	1	6	61 (2)	83	107 (3)
56～60歳	212 (2)	—	4	5	10	62 (1)	59	72 (1)
61歳以上	350 (6)	1	11	32 (1)	38	92	78 (1)	98 (4)

()は女性団員で内数

(平均年齢 50.0歳)

◎ 消防団員の勤続年数

令和5年4月1日現在

区 分	団員数	構成率
5年未満	192 (17)	11.7%
5年以上10年未満	277 (12)	16.9%
10年以上15年未満	286 (3)	17.5%
15年以上20年未満	212 (5)	13.0%
20年以上25年未満	192 (1)	11.7%
25年以上30年未満	204 (1)	12.5%
30年以上	272 (0)	16.6%
計	1,635 (39)	

()は女性団員で内数

◎消防団担当区域

方面	地区	分団名	管轄区域
呉	呉東	大和	宮原支所所管区域, 警固屋支所所管区域
		本通	三和町, 清水1~3丁目, 八幡町, 本通1~8丁目, 中通1~4丁目, 幸町, 本町, 和庄登町, 和庄本町, 和庄1・2丁目, 寺本町, 溝路町, 長迫町, 上長迫町, 東鹿田町, 西鹿田1・2丁目, 東畑1・2丁目, 西畑町, 上畑町, 吾妻1・2丁目, 平原町, 上平原町
	呉中央	中央	西谷町, 上山田町, 下山田町, 伏原1~3丁目, 長ノ木町, 東中央1~4丁目, 朝日町, 南辰川町, 東辰川町, 西辰川1・2丁目, 畝原町, 東惣付町, 西惣付町, 望地町, 内神町, 上内神町, 中央3~7丁目, 東片山町, 西片山町, 西中央3~5丁目, 江原町, 郷町, 二河町, 上二河町
		湾岸	中央1・2丁目, 西中央1・2丁目, 山手1・2丁目, 東三津田町, 西三津田町, 三条1~4丁目, 東愛宕町, 西愛宕町, 宝町, 二河峽町, 両城1・2丁目, 海岸1~4丁目, 東川原石町, 西川原石町, 北塩屋町, 東塩屋町, 西塩屋町, 新宮町, 築地町, 光町, 吉浦支所所管区域(弥生町, 汐見町, 梅木町, 大山町, 長谷町を除く。)
	呉北	昭和	昭和支所所管区域
天応		天応支所所管区域, 吉浦支所所管区域のうち湾岸分団の管轄区域を除く区域	
広	広西	阿賀	阿賀支所所管区域のうち大冠分団の管轄区域を除く区域
		大冠	阿賀南8・9丁目, 情島
		広西	広横路1~4丁目, 広大広1・2丁目, 広古新開1~9丁目, 広文化町, 広多賀谷1~3丁目
		広北	広弁天橋町, 広中迫町, 広三芦1・2丁目, 広塩焼1・2丁目, 広町田1・2丁目, 広徳丸町, 広石内1~4丁目
		郷原	郷原支所所管区域
	広東	広中央	広末広1・2丁目, 広本町1~3丁目, 広大新開1~3丁目, 広中新開1~3丁目, 広吉松1・2丁目, 広駅前1・2丁目, 広中町, 広杭本町
		広東	広名田1・2丁目, 広白岳1~6丁目, 広白石1~4丁目, 広両谷1~3丁目
		広南	広津久茂町, 広長浜1~5丁目, 広小坪1・2丁目
仁方	仁方支所所管区域		
安芸	下蒲刈	下蒲刈	下蒲刈支所所管区域
	蒲刈	蒲刈	蒲刈支所所管区域
	豊浜	豊浜	豊浜支所所管区域
	豊	豊	豊支所所管区域
安川	川尻	川尻	川尻支所所管区域
	安浦	安浦三津口	三津口1~6丁目, 中央1丁目(3・4番に限る。), 中央5~8丁目, 中央北1丁目(9~19番に限る。), 水尻1・2丁目
		安浦内海	中央1丁目(1・2番に限る。), 中央2~4丁目, 内海南1~6丁目, 中央北1丁目(1~8番に限る。), 中央北2丁目, 内海北1~7丁目
		安浦野路	中切, 原畑, 内平及び中畑(市原及び野呂山に限る。)
	安浦北	中畑のうち安浦野路分団の管轄区域を除く区域, 下垣内, 赤向坂及び女子畑	
安浦安登	安登東1~6丁目, 安登西1~10丁目, 中央ハイツ, 亀戸, 日之浦及び沖ノ手		
音倉	音戸	瀬戸	坪井1~3丁目, 引地1・2丁目, 鯛浜1~3丁目
		音戸東	北隠渡1・2丁目, 南隠渡1~4丁目, 高須1~3丁目
		波多見	波多見1~11丁目
		音戸南	畑1~3丁目, 有清1・2丁目, 先奥1~3丁目, 藤脇1~3丁目
		音戸西	早瀬1~3丁目, 田原1~3丁目, 渡子1~3丁目
	音倉橋	倉橋西	石持, 才ノ木, 松原, 上河内, 小林, 石原, 尾曾郷, 須川, 西宇土及び大向
		倉橋北	重生, 江ノ浦, 重極, 鳴滝, 光ヶ瀬, 小宇和木, 宇和木, 釣士田, 長谷及び大江
倉橋東	尾立, 伊目木, 納, 脇田, 室尾西, 袋ノ内, 須ノ崎, 室尾東, 倉井, 大迫及び小尻郷		
倉橋南	海越, 藤ヶ迫, 唐船, 鹿老渡, 瀬戸, 鹿島中及び宮ノ口		

消 防 年 報

令和5年12月発行

編集・発行 呉市消防局消防総務課
〒737-0811 広島県呉市西中央3丁目1番9号
TEL:0823-26-0119 (代表) FAX:0823-26-0308
HP:<https://www.city.kure.lg.jp/site/syoubou/>